

付 属 資 料

1. PDM (Version 3.0)
2. PO
3. 合同評価報告書 (仏語版)
4. 活動実績
5. 面談記録

PDM Ver. 3

改定年月日：2010年3月31日

プロジェクト名	コモエ県における住民参加型持続的森林管理計画
協力期間	5年(2007年7月から2012年6月)
受益国における実施機関	ブルキナファソ国環境・生活環境省、次官室、自然保全総局、森林局、カスカード州局、コモエ県局
協力機関	カスカード州庁、コモエ県庁、バンフォラ、ティエフォラ、シデラドゥグ及びスバカニエドゥグのコミュニティ、農業・給水・水産省カスカード州局、動物資源省カスカード州局、女性地位向上省カスカード州局、財務経済省国際協力総局
プロジェクト・エリア	ブヌナ、トゥムセニ、グアンドゥグ、コンゴ指定林及びその隣接地域
対象グループ	4つの対象指定林隣接地域の住民、森林行政機関職員

要約	指標	入手手段	外部条件
上位目標			
プロジェクト対象となった4指定林において地域住民による参加型で持続的な森林管理が実践される	- 対象4指定林においてプロジェクトで導入された活動が、策定された森林整備事業計画に則ってGGF/UGGFにより持続的に実施される。	- GGF及びUGGF活動報告書 - 技術機関モニタリング/監督報告書 - カスカード州の指定林状況調査報告書 - 成果品の現物	- 参加型持続的森林管理に係る国家政策が継続される
プロジェクト目標			
対象となる4つの指定林(ブヌナ、トゥムセニ、グアンドゥグ、コンゴ)において、森林管理住民組織(GGF)及び住民組織連合(UGGF)を通じて、地域住民による持続的森林管理を目指した活動が行われるようになる	プロジェクト開始時に比べ、 - 対象指定林において、GGF/UGGFによる森林管理活動の基礎となるゾーニングが明確にされる。 - 各対象指定林の整備目標が明確に設定され、その目標に沿った森林管理活動がGGF/UGGFにより継続的に実施される	- GGF及びUGGF活動報告書 - 技術機関モニタリング/監督報告書	- カスカード州の社会経済状況が悪化しない - 対象4指定林のPAGがブ国政府により承認される
アウトプット			
1. 住民が参加型で持続的な森林管理を行えるよう、中央・地方の森林行政機関の支援能力が向上する	- プロジェクト関係森林官が参加型持続的森林管理の研修を少なくとも中央レベルで4回、地方レベルで6回受け、効率よく地域関係者と協働する。	- 能力評価簡易報告書 - 研修評価報告書 - プロジェクト定期報告書	- 森林資源に影響を及ぼしえる自然災害が発生しない - 全てのレベルでのガバナンスが良好に保たれる
2. 対象村落において、GGF及びUGGFの持続的森林管理に関する能力が向上する	- 27GGF及び4UGGFが新規設置又は再活性化される。 - GGF及びUGGFが研修で得た技術を活用し、森林管理活動を開始する。	- プロジェクト定期報告書 - GGF及びUGGFの認定証 - GGF及びUGGF活動報告書	- プロジェクト対象地域において安全が確保される
3. 地域住民の生活状況が改善される	- 対象指定林関連のGGFが木材及び非木材林産物を活用した所得創出活動を開始する。 - GGFが活動に要する資機材等への再投資を行う。	- プロジェクト定期報告書 - 中間評価報告書	
4. 対象とする4つの指定林において、森林整備事業計画(PAG)が順次策定され、開始される	- 対象指定林毎に1計画、合計4つのPAGが策定される。 - 南スーダン気候帯における森林整備方法論ガイドが作成される。 - 地域住民向け参加型持続的森林管理実践マニュアルが少なくとも8種類作成される。 - GGF/UGGFが継続的に少なくとも4種類の森林管理活動の技術を習得し、PAGに則って活動を開始する。	- MECVでの修正PAG - 南スーダン気候帯における森林整備方法論ガイド - 地域住民向け参加型持続的森林管理実践マニュアル - プロジェクト定期活動報告書	

要約	指標	入手手段	外部条件
5. 持続的な森林管理を行うために、地方行政機関及びプロジェクトに関係する国の出先機関の関係者(地域関係者)と森林行政機関との協力関係がより深まる	<ul style="list-style-type: none"> - 地域関係者及び関係省庁関係者との協議会を少なくとも毎年、年3回開催する。 - プロジェクトと州局との間で提携協定が締結される。 - 地域の民間企業との連携関係が構築される。 	<ul style="list-style-type: none"> - 協議会合簡易報告書 - プロジェクト定期報告書 - 提携合意書、契約書 	
活動			
A0.1. 実施済み調査及び類似プロジェクトの成果をレビューする	<ul style="list-style-type: none"> - 既存資料及び報告書(コピー又はオリジナル)を収集し、検討する 	<ul style="list-style-type: none"> - 収集資料リスト - プロジェクト定期報告書 	
A0.2. 地方レベルにプロジェクト事務所を設け、活動実施に必要な人的、物的資源を配置する	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトに事務所を配置する。 - プロジェクトがプロジェクト支援スタッフを5名雇用する。 - プロジェクトに車両、情報機器、事務機器などプロジェクト活動に必要な資機材を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 事務所備品リスト - プロジェクト定期報告書 - 業務契約書 - 就業記録 - 現物 	
A0.3. プロジェクト実施コーディネーション・メカニズムを設置する	<ul style="list-style-type: none"> - ナショナル・コーディネーター1名を配置する。 - 省令により合同調整委員会を設置し、年2回開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> - ナショナル・コーディネーター任命に係る省令 - 合同調整委員会設置に係る省令 - プロジェクトの報告書又は簡易報告書 	
A1.1. 能力向上を目的として、中央・地方森林行政機関の技術的、組織的能力現状を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> - 自己評価会を中央レベル1回、地方レベル1回開催する。 - 自己評価会には少なくとも中央レベル10人、地方レベル10人の森林官が参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 森林官能力評価簡易報告書 - プロジェクト定期報告書 	
A1.2. 森林行政当局に対して参加型森林整備事業計画策定及び実施に係る研修とワークショップを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> - 研修会を中央レベル2回、地方レベル2回実施する。 - 研修は少なくとも2つのテーマを扱う。 - 研修会には少なくとも中央レベル延べ20名(10名×2回)、地方レベル延べ20名(10名×2回)の森林官が参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 研修報告書 - プロジェクト定期報告書 	
A1.3. 森林官向け参加型持続的森林管理技術に係る研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> - 研修会を地方レベル2回実施する。 - 研修会には少なくとも延べ20名(10名×2回)の森林官が参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 研修報告書 - プロジェクト定期報告書 	
A1.4. 森林官向け参加型持続的森林管理活動のモニタリング・評価に係る研修を実施する	<ul style="list-style-type: none"> - 研修会を中央レベル1回、地方レベル1回実施する。 - 研修会には少なくとも中央レベル10名、地方レベル10名の森林官が参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 研修報告書 - プロジェクト定期報告書 	
A1.5. 森林官チーム ¹ が定期モニタリング/コントロールを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> - モニタリングは四半期ごとに1回、年4回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> - モニタリング報告書(モニタリングチーム作成) 	
A2.1. 既存 GGF 及び UGGF の現在の技術、組織能力を評価する	<ul style="list-style-type: none"> - 評価会合が1村あたり1回の割合で24回実施される。 	<ul style="list-style-type: none"> - 評価会合簡易報告書 - プロジェクト定期報告書 	

¹ 森林官チームの構成:カスカード州局長、コモエ県局長、森林局森林整備部代表1名及び生態モニタリング・統計局代表1名

要約	指標	入手手段	外部条件
A2.2. プロジェクト関連村落の既存 GGF 及び UGGF の技術、組織能力を強化する	<ul style="list-style-type: none"> - 研修会は 2 回実施する。 - 既存の 13GGF の執行部を刷新する。 - 研修は記録・会計及び計画立案の 2 つのテーマで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> - 研修報告書 - プロジェクト定期報告書 - GGF 総会議事録 	
A2.3. 4 指定林隣接の村落及び村落グループにおいて新規 GGF 及び UGGF の設立を推進する	<ul style="list-style-type: none"> - 新規に 14 の GGF、またグアンドゥグ指定林及びコングコ指定林それぞれに UGGF を新設する。 	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト定期報告書 - GGF 設置議事録 - 認定証 	
A2.4. 森林管理技術(苗畑、植林、野火管理、薪材生産、棒材・工芸品用材、用材生産、製炭、非木材林産物生産など)に係る研修を実施する ²	<ul style="list-style-type: none"> - 研修会は 8 つのテーマで各 GGF 対象に少なくとも 1 回実施する (研修回数は延べ 216 回) - 研修会には少なくとも 1 回 10 人の GGF 会員が参加する (参加者数は延べ 2160 名) 	<ul style="list-style-type: none"> - 研修報告書 - プロジェクト定期報告書 	
A2.5. GGF 及び UGGF 向けに林産物の交渉、販売技術に係る研修を実施する	<ul style="list-style-type: none"> - 研修は少なくとも 1 GGF1 回の延べ 27 回実施する。 - 研修会には少なくとも 1 回 10 名、延べ 270 名の GGF 会員が参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 研修報告書 - プロジェクト定期報告書 	
A2.6. GGF 及び UGGF 向けにモニタリング・評価に係る研修を実施する	<ul style="list-style-type: none"> - 研修は少なくとも 1GGF1 回の延べ 27 回実施する。 - 研修には少なくとも 1 回 10 名、延べ 270 名の GGF 会員が参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 研修報告書 - プロジェクト定期報告書 	
A3.1. 地域住民の優先社会経済インフラクチャー及び施設に関するニーズを調査し、その実現可能性を分析する	<ul style="list-style-type: none"> - 実施可能性記述を含むニーズリストが作成される。 	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト定期報告書 	
A3.2. 木材及び非木材資源の活用を目的とする活動を計画し、実施する	<ul style="list-style-type: none"> - GGF 会員が挙げた活動の中から、少なくとも 6 種類の活動を計画し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 立案された計画 - プロジェクト定期報告書 - 品質が向上した製品 	
A3.3. 地域住民のために採択された社会経済優先ニーズ充足を目的とする活動を計画し、実施する	<ul style="list-style-type: none"> - GGF 会員が挙げたインフラの中から、少なくとも 1 つのインフラ整備を計画し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 策定された計画 - プロジェクト定期報告書 - 成果現物 	
A4.1. 各指定林の整備事業計画を作成する	<ul style="list-style-type: none"> - 指定林ごとに 1 つの PAG、延べ 4 つの PAG を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 承認済み PAG - プロジェクト定期報告書 	
A4.2. 策定済み PAG に則って森林管理活動を開始する	<ul style="list-style-type: none"> - 2009 年 10 月から PAG の策定を順次開始され、計画に則った具体的な活動が 2010 年 10 月から開始される。 	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト定期報告書 - 成果現物 	
A4.3. 森林官向けに南スーダン気候帯地域における森林整備方法論ガイドを作成する	<ul style="list-style-type: none"> - ガイドが作成される。 	<ul style="list-style-type: none"> - ガイド文書 - プロジェクト定期報告書 - 承認ワークショップ報告書 - 作成協議会合簡易報告書 	
A4.4. 参加型森林管理に関する地域住民に適した実践的ガイドを作成する	<ul style="list-style-type: none"> - 実践ガイドが少なくとも 8 種類作成される。 	<ul style="list-style-type: none"> - マニュアル文書 - プロジェクト定期報告書 	

² 実施形態は現地コンサルタントへの再委託及び技術機関職員を講師とするプロジェクト直営方式で行う

³ 薪生産、木炭生産、シアバター品質向上、薬用植物活用、近代養蜂、スンバラ品質向上

要約	指標	入手手段	外部条件
A5.1. 地方行政機関並びに関連部に本プロジェクトを紹介するためセミナーを開催する	- 地域関係者セミナーを年1回、延べ5回開催する。 - 地域関係者セミナーには少なくとも80名が参加する。	- セミナー報告書 - プロジェクト定期報告書	ブ国において住民参加型持続的森林管理に係る政策が存在する。
A5.2. 技術協議、活動報告書、各種情報伝達経路を通じてプロジェクトに係る意見交換を行い、情報を広める	- 合同調整委員会は年2回、延べ10回開催する。 - 各種活動報告書は少なくとも29回作成する。 - 《ニューズレター》は12回発行する。 - 研修旅行は3回実施する。	- プロジェクト定期報告書 - 合同調整委員会報告書 - 発行済み《ニューズレター》 - 研修旅行簡易報告書 - 検討ワークショップ報告書	
A5.3. コミュニオン開発計画の森林部門に係る森林官の監理活動を支援する	- 森林官は少なくとも四半期に1回、年に4回、関連コミュニティが作成するコミュニティ開発計画に含まれる森林セクターの活動監理を行う。	- 監理報告書 - プロジェクト定期報告書 - 成果現物	

【投入】

日本側：

- 専門家
 - チーフアドバイザー
 - 参加型森林管理
 - 業務調整
 - その他：効果的なプロジェクト実施のために必要性に応じて派遣する
- 機材供与
 - 四輪駆動車
 - オフロードバイク
 - 森林管理に必要な機材
 - 住民の生計向上新活動に必要な機材
 - その他の必要な機材
- 本邦研修

ブルキナファソ側：

- プロジェクトの主要なカウンターパート
 - 森林局長
 - カスカード州局長
 - コモエ県局長
 - ナショナル・コーディネーター
 - 森林官
- 支援要員
 - 秘書
 - メッセンジャー
 - 運転手
 - 守衛
- 施設・設備
 - プロジェクト実施に必要な建物（事務所と倉庫）
 - プロジェクト実施のための水道、電気
 - 必要に応じて双方で合意したその他の設備
- 運営管理コスト

Plan of Operation

ブルキナファソ国「コモエ県における住民参加型持続的森林管理計画」

■ : 実施
 ▨ : 随時実施

PDM Version 3対応

活動	担当責任者	2007		2008		2009		2010		2011		2012		備考(第3年次以降の日本側の追加対応措置)
		1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	
0.準備期間														
0-1	過去の調査やプロジェクトをレビューする	日本人専門家、NC		▨	▨									
0-2	プロジェクト実施のために必要なプロジェクトの現地事務所、必要な人員、資機材の設置を行う。	DREDD、CA、DiFor	■	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	
0-3	プロジェクト実施のための調整機能を整える。	DGCN、DiFor	■											
1.「住民が参加型で持続的な森林管理を行えるよう、中央・地方の森林行政機関の支援能力が向上する。」														
1-1	能力強化を図るため、中央・地方の森林行政機関の技術・組織能力に関して現状を分析する。	DREDD DPEDD	■											
1-2	中央・地方の森林行政機関に対して、参加型で持続的な森林管理の計画と実践に関する研修やワークショップを実施する。	DiFor DREDD DPEDD	■	■	■	■	■							
1-3	地方森林官に対して、参加型で持続的な森林管理技術に関する研修を実施する。	DREDD DPEDD		▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	
1-4	参加型で持続的な森林管理を行うためのモニタリング及び評価に関する研修を実施する。	DREDD DPEDD			▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	
1-5	森林官チームによる定期モニタリング実施を推進する。	DREDD DPEDD						▨	▨	▨	▨	▨	▨	森林官のGGF活動モニタリングに関して、プロジェクトは中央及び州局、県局の森林官だけでなく、郡森林官についても支援を行う。

Plan of Operation

活動	担当責任者	2007		2008			2009			2010			2011			2012		備考(第3年次以降の日本側の追加対応措置)	
		1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月		1月
2. 「対象村落において、GGF及びUGGFの持続的森林管理に関する能力が向上する。」																			
2-1	GGF及びUGGFの現状の技術的、及び組織的能力を分析する。																		
2-2	対象指定林周辺村落において、既存のGGF及びUGGFの組織的能力を向上させる。																		
2-3	対象指定林周辺村落のうち、組織が未設立の地域において、新規のGGF及びUGGFの設立を支援する。																		
2-4	GGF及びUGGFに対して、森林管理技術向上のための研修(苗畑、植林、森林火災対策、薪炭材、炭、木材、非木材林産物ほか)を実施する。(実施形態は現地コンサルタントへの再委託及び技術機関職員を講師とするプロジェクト直営方式)																		
2-5	GGF及びUGGFに対して、林産物等を有利に流通・販売するための研修を実施する。																		
2-6	地域住民に対して森林保全に関する啓発を実施する。																		
2-7	GGF及びUGGFに対して、自分たちの活動をモニタリング・評価するための研修を実施する。																		
3. 「地域住民の生活状況が改善される。」																			
3-1	地域住民の社会経済ニーズを把握し、その実現可能性を確認する。																		
3-2	地域住民が木材及びその他森林資源を有効利用するための活動を計画し、実施する。																		木材林産物(薪、木炭)の生産、流通に係る関係者会合を2010年10月に開催予定
3-3	その他地域住民の社会経済ニーズに見合った生産向上活動を計画し、実施する。																		

Plan of Operation

活動	担当責任者	2007		2008		2009		2010		2011		2012		備考(第3年次以降の日本側の追加対応措置)
		1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	
4.「対象とする4つの指定林において、森林整備事業計画(PAG)が順次策定され、開始される。」														
4-1	各対象指定林におけるPAGを、活動3-2を踏まえ策定する。													4指定林の森林整備事業計画(PAG)素案を第3年次に作成 州レベルのPAG素案検討ワークショップを2010年10月に開催予定 中央レベルのPAG原案検討ワークショップを2011年2月に開催予定 国土整備県委員会(PAGの第1承認ステップ)の会議を2011年5月に開催予定
4-2	策定された各PAGに従って、森林管理活動を実践していく。													GGFレベルではPAGの内容を先取りする形で活動を実施。現地での森林整備事業(整備単位界伐開など)は第4年次、第5年次に実施。
4-3	(コモエ県の属する)南スーダン気候帯において現場森林官が活用できるPAG策定のガイドラインを作成する。													
4-4	地域住民を対象とした、PAGに沿った森林管理活動に関するマニュアルを作成する。													
5.「持続的な森林管理を行うために、地方行政機関及びプロジェクトに関する国の出先機関の関係者(地域関係者)と森林行政機関との協力関係がより深まる。」														
5-1	地域関係者に対して、プロジェクトの概要を説明するセミナーを開催する。													
5-2	技術会合、活動報告等、さまざまなチャネルを通して、地域関係者をプロジェクト活動に巻き込み、情報の発信、交換を行う。													
5-3	コミュン開発計画の森林部門に係る森林官の監理活動を支援する。													コミュンの森林活動への支援として、第3年次より郡森林官による技術支援をプロジェクトが支援。 第4年次及び第5年次に、コミュン関係者(市長、関係村議員など)への研修を、プロジェクトの支援により州局長又は県局長を講師として実施。

PROCES-VERBAL DE DISCUSSIONS
 ENTRE L'AGENCE JAPONAISE DE COOPERATION INTERNATIONALE
 ET LE MINISTERE DE L'ENVIRONNEMENT ET DU DEVELOPPEMENT
 DURABLE DU BURKINA FASO
 SUR LE RAPPORT DE L'EVALUATION FINALE CONJOINTE
 ET LA MODIFICATION DU P/V
 DE LA COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE
 POUR LE PROJET DE GESTION PARTICIPATIVE ET DURABLE
 DES FORETS DANS LA PROVINCE DE LA COMOIE

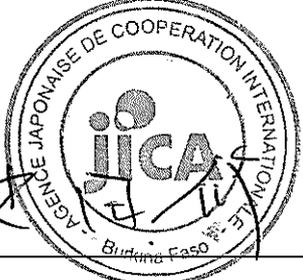
La mission d'évaluation finale du Projet de coopération technique japonaise pour la gestion participative et durable des forêts dans la province de la Comoé (ci-après désigné « le Projet ») a été coorganisée par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « JICA ») et le Ministère de l'Environnement et du Développement Durable (ci-après désigné « MEDD »).

La partie japonaise était dirigée par M. IKEDA Shuichi, Directeur général adjoint chargé du Groupe de la conservation des forêts et de la nature, Département de l'environnement global, JICA.

La partie burkinabè était dirigée par M. OUEDRAOGO Lassane, Chargé d'étude au Secrétariat Général du MEDD.

L'équipe d'évaluation finale conjointe burkinabè et japonaise (ci-après désignée « l'Equipe ») a mené une étude intensive et une analyse des activités et réalisations du Projet, et a élaboré le Rapport de l'évaluation finale conjointe ci-joint (ci-après désigné « le Rapport »).

La JICA et les autorités burkinabè concernées ont convenu du contenu du Rapport. Suite aux discussions, les deux parties ont convenu des points, comprenant la modification du P/V, mentionnés dans le document joint.

M. IKEDA Shuichi

Directeur général adjoint chargé du Groupe
de la conservation des forêts et de la nature,
Département de l'environnement global,
JICA

Ouagadougou, le 2 février 2012




M. COULIBALY Sambou

Secrétaire Général,
Ministère de l'Environnement et du
Développement Durable

Documents joints

1. Prolongation de la période du Projet et modification du Procès-verbal de discussions (P/V) y afférent

La période du Projet de Gestion Participative et Durable des Forêts dans la Province de la Comoé sera prolongée de six (06) mois à partir du 30 juin 2012. Le plan d'activités dans la période restante sera préparé dans les meilleurs délais.

Fin

Annexe : Rapport d'évaluation finale conjointe

1/8

2

BURKINA FASO
 MINISTERE DE L'ENVIRONNEMENT ET
 DU DEVELOPPEMENT DURABLE

AGENCE JAPONAISE DE
 COOPERATION INTERNATIONALE
 (JICA)

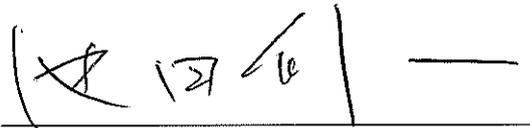
PROJET DE GESTION PARTICIPATIVE ET DURABLE
 DES FORETS DANS LA PROVINCE DE LA COMOIE

 RAPPORT DE L'EVALUATION FINALE CONJOINTE

La mission d'évaluation finale conjointe, coorganisée par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « JICA ») représentée par M. IKEDA Shuichi, Directeur général adjoint chargé du Groupe de la conservation des forêts et de la nature, Département de l'environnement global, JICA et le Ministère de l'Environnement et du Développement Durable (ci-après désigné « MEDD ») représenté par M. OUEDRAOGO Lassane, Chargé d'étude au Secrétariat Général du MEDD, s'est déroulée du 15 janvier au 3 février 2012 en vue de passer en revue l'état d'avancement et les réalisations du Projet de coopération technique japonaise pour la gestion participative et durable des forêts dans la province de la Comoé (ci-après désigné « le Projet »).

Au cours de l'évaluation finale au Burkina Faso, une série de discussions avec les autorités burkinabè concernées, ainsi que des visites de terrain dans la zone d'intervention ont été faites. Sur la base des échanges et visites, l'équipe d'évaluation finale conjointe (ci-après désignée « l'Equipe ») a convenu du contenu du Rapport de l'évaluation finale conjointe (ci-après désigné « le Rapport ») ci-joint. Le Rapport a fait l'objet d'un compte-rendu au Secrétaire Général du MEDD.

Ouagadougou, le 2 février 2012



M. IKEDA Shuichi

Directeur général adjoint chargé du Groupe de la conservation des forêts et de la nature, Département de l'environnement global, JICA



M. OUEDRAOGO Lassane

Chargé d'étude, Secrétariat général, Ministère de l'Environnement et du Développement Durable



RAPPORT D'EVALUATION FINALE

Introduction

Du 15 janvier au 3 février 2012, s'est déroulée la mission d'évaluation finale conjointe du projet de gestion participative et durable des forêts dans la province de la Comoé (ci-après désigné « le projet »). Conformément au Procès-verbal des discussions (P/V) signé le 7 juin 2007 entre les autorités japonaises concernées et le Gouvernement Burkinabè, la mise en œuvre du projet a démarré le 1^{er} juillet 2007 pour une période de cinq ans (1^{er} juillet 2007 au 30 juin 2012).

Le présent document est le rapport de l'évaluation finale conjointe dudit projet réalisée environ six mois avant la fin du projet.

1. Aperçu de la mission d'évaluation finale

1.1 Objectifs de l'évaluation finale

L'objectif de l'évaluation est de vérifier globalement la bonne mise en œuvre du projet et de formuler des recommandations. Cette évaluation finale conjointe s'est réalisée sur la base de cinq critères : la pertinence, l'efficacité, l'efficience, l'impact et la durabilité.

1.2 Composition de l'équipe d'évaluation conjointe

(1) Partie japonaise

Poste et organisation	Nom / Prénom
Directeur général adjoint chargée du Groupe des forêts et de la conservation de la nature, Département de l'environnement global, JICA	IKEDA Shuichi (chef de l'équipe japonaise)
2 nd e Division des forêts et de la conservation de la nature, Groupe des forêts et de la conservation de la nature, Département de l'environnement global, JICA	TERADA Saeko
Consultant, Pegasus Engineering Corporation	YAMADA Chiaki
Interprète, Japan International Cooperation Center	MORITA Toshiyuki

(2) Partie burkinabè

Poste et organisation	Nom / Prénom
Chargé d'Etude au Secrétariat Général, Ministère de l'Environnement et du Développement Durable (MEDD)	OUEDRAOGO Lassané (chef de l'équipe burkinabè)
Direction des Etudes et de la Planification, MEDD	KAFANDO K. Judith

1.3 Déroulement de la mission

La mission d'évaluation conjointe a fait des visites de courtoisie aux autorités suivantes : le Secrétaire Générale du Ministère de l'Environnement et du Développement Durable ; le Directeur Général de la Conservation de la Nature ; le Directeur des Forêts ; le Directeur Régional des Cascades ; la Directrice provinciale de la Comoé ; le Haut Commissaire de la Province de la Comoé. Pour la collecte d'informations, elle a effectué des interviews auprès des différentes parties concernées :

- Le personnel homologue du projet des services forestiers aux niveaux central, régional, provincial et départemental ;
- L'équipe du projet (Coordonnateur National, experts japonais, facilitateurs-assistants, comptable ;
- Les Groupements de Gestion Forestière (GGF) et les Unions de Groupements de Gestion Forestière (UGGF) des 4 forêts classées ciblées du projet ;
- Les Entreprises privées ayant les expériences de valorisation des produits forestiers non-ligneux et/ou la possibilité de collaboration avec le projet (Phytofla, Centre de Formation RAKIETA, A Dansè) ;

L'Equipe d'évaluation conjointe sur la base des différentes informations collectées, et des visites sur le terrain a élaboré le présent rapport d'évaluation conjointe.

2. Aperçu du projet

2.1 Contexte du projet

Le Burkina Faso fait face aujourd'hui à des problèmes de désertification dus à plusieurs causes dont les péjorations climatiques sont les plus importantes. A cela s'ajoutent les effets de la croissance démographique galopante, le déplacement des populations du nord du pays vers le sud et l'ouest à la recherche de terres cultivables et de pâturages, les cultures itinérantes sur brûlis, l'élevage extensif. Tous ces facteurs ont pour conséquence la diminution des superficies forestières (110 500 ha par an, selon la Base de Données de l'Occupation des Terres 2002).

C'est au regard de cette situation que le Gouvernement du Burkina Faso a élaboré une Politique Forestière

Nationale (PFN) en 1995. Pour sa mise en œuvre, le MEDD a adopté en 1996 un Programme National d'Aménagement des Forêts (PNAF) ainsi qu'un certain nombre de lois régissant la gestion des ressources forestières.

C'est dans ce contexte qu'à la demande du Gouvernement Burkinabé, la JICA a réalisé entre août 2002 et juin 2005, une Etude de développement sur la gestion participative des forêts classées dans la province de la Comoé. Cette étude ciblait pour zone d'intervention, les forêts classées de Bounouna, Toumousséni, Gouandougou, Kongouko et Dida. Cette étude a permis de définir les orientations et les approches pour la mise en œuvre des plans de gestion participative desdites forêts classées.

Sur la base de la conclusion de cette étude de développement, le Gouvernement Burkinabé a formulé auprès du Japon une nouvelle requête de coopération technique visant la gestion durable et participative des forêts classées. C'est en réponse à cette requête que le projet de gestion participative et durable des forêts dans la province de la Comoé (PROGEPAF/Comoé) est mis en œuvre comme un projet de coopération technique japonaise au Burkina Faso marqué par une désertification. Notons cependant que la zone d'intervention du projet s'est limitée aux quatre forêts classées : Gouandougou, Kongouko, Toumousséni et Bounouna.

2.2 Généralité du projet

- (1) Durée du projet : 5 ans (du 1^{er} juillet 2007 au 30 juin 2012)
- (2) Encrage institutionnel : Ministère de l'Environnement et du Développement Durable (MEDD)
- (3) Zone cible : Quatre (4) forêts classées (FC) de Bounouna, Toumousséni, Gouandougou et Kongouko dans la province de la Comoé
- (4) But global : La gestion participative et durable des forêts classées ciblées par le projet est assurée par la population locale.
- (5) Objectif du projet : Les activités visant la gestion durable des 4 forêts classées de Bounouna, Toumousséni, Gouandougou et Kongouko sont menées par la population locale à travers les GGF et les UGGF.
- (6) Résultats attendus :
 - 1) Les capacités des services forestiers (centraux et déconcentrés) à appuyer les populations en matière de gestion participative et durable des forêts sont renforcées
 - 2) Les capacités des GGF et des UGGF des villages concernés sont renforcées en matière de gestion participative et durable des forêts
 - 3) Les conditions de vie des populations locales sont améliorées
 - 4) Les plans d'aménagement et de gestion (PAG)¹ des 4 FC sont élaborés et connaissent un début de mise en œuvre
 - 5) Les partenaires locaux et les services forestiers ont une relation de collaboration plus étroite pour la gestion durable des forêts

3. Méthodologie d'évaluation

3.1 Méthodes de collecte des informations

L'équipe d'évaluation conjointe a collecté des données à travers une revue documentaire sur le projet, la réalisation d'interviews auprès des acteurs concernés, des visites de terrain, une analyse du cadre logique du projet / PDM (Cf. Annexe-2) et du Plan d'Opération (Cf. Annexe-3).

3.2 Objets d'évaluation

3.2.1 Réalisations du projet

Examiner le degré de réalisation du but global, de l'objectif du projet, par rapport au planning du PV et du PDM, ainsi que le degré de réalisation des résultats attendus et l'état d'exécution des Intrants.

3.2.2 Processus de mise en œuvre du projet

L'ensemble du processus de mise en œuvre du projet fait l'objet de la présente évaluation. La réalisation des activités suivant le Plan d'Opération (PO) ainsi que la gestion appropriée du projet ont été vérifiées. Les résultats obtenus suivant le PO ont été confirmés. Les éléments dans le processus qui influent sur la réalisation des résultats ou de l'objectif du projet sont examinés.

3.2.3 Critères d'évaluation

Cinq (5) critères sont utilisés pour l'évaluation: la pertinence, l'efficacité, l'efficience, l'impact et la durabilité.

(1) Pertinence	La pertinence d'un projet est évaluée du point de vue de la cohérence du projet par rapport
----------------	---

¹ L'appellation Plan d'Aménagement et de Gestion (PAG) est devenue Plan d'Aménagement Forestier (PAF) après l'adoption du nouveau code forestier en 2011. Ce rapport n'utilisera que le terme PAG.

	aux besoins des zones et populations cibles, ainsi que des groupes cibles. La cohérence par rapport aux politiques de développement burkinabè et aux orientations de la coopération japonaise. La pertinence des approches du projet fait également l'objet de cette évaluation.
(2) Efficacité	L'efficacité d'un projet est évaluée en répondant aux questions suivantes : l'objectif du projet pourra être atteint ? ; existe-t-il des obstacles entravant la réalisation de l'objectif du projet ? ; les résultats attendus sont-ils suffisants pour l'atteinte de l'objectif du projet ? ; les conditions extérieures sont-elles satisfaites pour permettre d'aboutir à l'objectif du projet ?
(3) Efficience	L'efficience d'un projet est évaluée en répondant aux questions suivantes : le degré de réalisation des résultats est-il approprié ? ; existe-t-il des obstacles entravant la réalisation des résultats ? ; les activités sont-elles suffisantes pour réaliser les résultats ? ; les intrants sont-ils suffisants pour réaliser les résultats ? ; les conditions extérieures ont-elles exercé des effets ? ; les intrants ont-ils été investis adéquatement tant au niveau quantitatif que qualitatif, au moment opportun, pour que les activités soient menées conformément au PO ?
(4) Impacts	L'impact d'un projet est évalué en répondant aux questions suivantes : le but global sera-t-il réalisable grâce à l'impact du projet ? ; y a-t-il des obstacles entravant la réalisation du but global ? ; n'y a-t-il pas trop d'écarts entre le but global et l'objectif du projet ? ; les conditions extérieures permettant la réalisation du but global à partir de celle de l'objectif du projet sont-elles toujours justes ? ; des effets et impacts autres que le but global sont-ils prévisibles ? Concernant la dernière question, si un effet négatif quelconque est prévisible, la prise effective des mesures d'atténuation sera vérifiée.
(5) Durabilité	La durabilité sera évaluée en répondant si les acquis du projet, comme objectif du projet et but global, seront-ils pérennes au-delà de la durée de la coopération. Les facteurs favorisant ou entravant la pérennité des acquis seront évalués sur les plans institutionnel / organisationnel, financier et technique.

4. Réalisations du projet et examen du processus de mise en œuvre

4.1 Réalisations du projet

4.1.1 Performance des intrants

Selon les chiffres communiqués par les deux (2) parties, l'état d'exécution des budgets du projet se présente comme suit :

Tableau 1 Intrants de la partie burkinabè (au 31 décembre 2011)

Affectation des homologues	Surveillance : DiFor : 1 pers. Surveillance : DREDD-Cascades : 5 pers. (Voir l'Annexe-5 pour le détail) Surveillance : DPEDD-Comoé : 4 pers. (Voir l'Annexe-5 pour le détail) Agents forestiers des 4 FC : 14 agents (Voir l'Annexe-5 pour le détail) Coordonnateur National (CN) : 1
Equipements	Véhicule, motos, autres matériels
Personnel d'appui	1 secrétaire-comptable, 1 chauffeur, 1 gardien, 1 pépiniériste, 1 agent de liaison
Coût	Montant exécuté : 125 334 332 FCFA (au 31/12/2011) Budget initial : 250 000 000 FCFA (d'après l'Entente signée le 7 juin 2007)

Tableau 2 Intrants de la partie japonaise

Rubriques	Intrants
Envoi d'experts japonais	Experts de courtes durée : 84,29 hommes-mois au total CTP ; Adjoint au CTP / amélioration du cadre de vie ; Experts en développement participatif ; Gestionnaire de formations ; Gestionnaires administratifs (Voir l'Annexe-6 pour le détail)
Equipements	Véhicules, Motos, Autres matériels
Formation d'homologues burkinabè au Japon	3 pers. au total (Voir l'Annexe-7 pour le détail)
Activités locales	Formations, fonctionnement, études, réalisations diverses
Coût	Montant exécuté : 403 099 500 yens (au 31/01/2012) Budget initial : 380 000 000 yens (d'après l'Entente signée le 7 juin 2007)

1/10

4.1.2 Réalisation des Résultats Attendus

Le résultat de l'évaluation au regard des Indicateurs Objectivement Vérifiables (IOV) définis par résultat attendu dans le PDM est présenté comme suit :

Résultat 1	<i>Les capacités des services forestiers (centraux et déconcentrés) à appuyer les populations en matière de gestion participative et durable des forêts sont renforcées.</i>
IOV 1	<i>Les agents forestiers concernés par le projet ont reçu les formations en gestion participative et durable des forêts au nombre d'au moins 4 au niveau central et 6 au niveau déconcentré et accompagnent efficacement les acteurs locaux.</i>

Les formations ont été mises en œuvre en faveur des agents des services forestiers centraux et déconcentrés conformément au programme, de manière à améliorer les capacités des agents.

« IOV 1 »

Au niveau central

Quatre (4) formations (« Auto-évaluation / capacités de facilitation », « Approche participative », « Plan d'aménagement et de gestion (PAG) », « Suivi / évaluation des activités ») ont été réalisées au niveau central.

Au niveau déconcentré

Onze (11) formations ont été réalisées au niveau déconcentré.

1	Auto-évaluation / capacités de facilitation	7	Suivi / évaluation des activités
2	Approche participative	8	Aménagement du bureau
3	Changement d'approche vers la gestion participative et durable des forêts, les techniques d'apiculture moderne, PFNL	9	Formation en élaboration du PAG
4	Gestion du cycle de projet (PCM)	10	Genre dans le développement
5	Renforcement organisationnel : prise de notes et comptabilité	11	Analyse et développement des marchés (ADM)
6	Plan d'aménagement et de gestion (PAG)		

D'après les interviews faites auprès des services forestiers et des experts japonais, les acquis suivants ont été confirmés.

- Au niveau déconcentré, la mise en œuvre des onze (11) formations, qui dépasse largement l'indicateur, a permis d'élargir la gamme des connaissances sur la gestion forestière chez les forestiers.
- Par rapport au début du projet, les formations ont contribué à améliorer la collaboration entre le service forestier et les acteurs.
- Comme résultat, les formations ont contribué à renforcer les capacités des agents des services forestiers (centraux et déconcentrés) afin d'assurer le rôle de formateur auprès des GGF.

Résultat 2	<i>Les capacités des GGF et des UGGF des villages concernés sont renforcées en matière de gestion participative et durable des forêts.</i>
IOV 1	<i>27 GGF et 4 UGGF sont nouvellement créés ou redynamisés.</i>
IOV 2	<i>Les GGF / UGGF commencent à effectuer des activités de gestion forestière en utilisant les techniques acquises avec la formation.</i>

Les formations en technique de gestion forestière durable (activités de conservation, technique de valorisation des PFL et PFNL) et en gestion organisationnelle ont été mises en œuvre en faveur des 27 GGF, comme programmées. En effet, quelques exemples témoignant d'une amélioration des capacités des GGF/UGGF en matière de gestion forestière ont été observés.

« IOV 1 »

GGF

Le projet a permis :

- La redynamisation des 13 GGF déjà existants à travers le renouvellement de leurs bureaux exécutifs et le renforcement des capacités organisationnelles,
- La création de 14 nouveaux GGF

UGGF

Les deux (2) UGGF existants (Bounouna, Toumousséni) ont été redynamisés (renouvellement des bureaux exécutifs et renforcement des capacités organisationnelles) et deux (2) nouveaux UGGF (Kongouko, Gouandougou) ont été créés. Ainsi, les UGGF jouent pleinement leur rôle de coordination et de plaidoyer.

« IOV 2 »

Activités	GGF de la FC Toumousséni		GGF de la FC Kongouko		GGF de la FC Gouandougou		GGF de la FC Bounouna		Total	
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
Ouverture de pare-feu	2	8	9	9	7	7	2	3	20	27
Apiculture	6	6	3	3	2	2	2	2	13	13
Production du beurre de karité	4	4	9	9	7	7	1	3	21	23
Production du soubala	4	4	0	0	0	0	3	3	7	7
Production du sirop du saba	1	1	0	2	2	2	1	3	4	8
Production des plants	6	8	9	9	3	7	3	3	21	27
Reboisement	0	8	9	9	6	7	2	3	17	27
Valorisation des plantes médicinales	7	8	0	9	2	7	2	3	11	27
Coupe	4	8	0	0	0	7	0	0	4	15
Carbonisation	4	8	1	1	1	1	0	0	6	10
Production du fourrage	2	8	9	9	1	7	0	3	12	27

(1) GGF ayant exécuté les activités ; (2) GGF ayant participé aux formations

Source : Etabli par la mission d'évaluation finale d'après le tableau réalisé par l'équipe du projet

Résultat 3	Les conditions de vie des populations locales sont améliorées.
IOV 1	Les GGF commencent à effectuer des activités génératrices de revenu en valorisant les produits forestiers ligneux et non ligneux.
IOV 2	Les GGF prennent leurs initiatives pour le réinvestissement en matériels nécessaires à leurs activités.

Les activités sont mises en œuvre comme programmées, Certains GGF pratiquent la production et la vente des produits forestiers ligneux, comme charbon et d'autres PFNL, comme production et vente du miel, vente des plantes médicinales, production et vente du beurre de karité, pour aboutir dans tous les cas à la création des revenus.

« IOV 1 »

Activités	Nombre de GGF exécutant les activités	Montant des ventes effectuées de 2009 à 2011 (FCFA)
Amélioration de la qualité du beurre de karité	21	6 406 775
Amélioration de la qualité du soubala	7	1 010 360
Valorisation des plantes médicinales	11	4 565 525
Valorisation du saba	4	NC
Apiculture moderne	13	1 847 750
Coupe	4	NC
Carbonisation	6	109 250
Total		13 939 660

Source : Etabli par la mission d'évaluation finale d'après le tableau réalisé par l'équipe du projet

« IOV 2 »

Les GGF ont constitué un fonds de roulement issu des Activités Génératrices de Revenus (AGR). A ce jour, deux (2) GGF ont réinvesti pour augmenter le nombre d'équipements. Il s'agit notamment des GGF de Bounouna et de Tonga qui ont pu acheter des ruches. Certains GGF envisagent aussi l'achat d'équipements afin d'augmenter leur productivité.

L'état des dépenses au niveau des GGF

	GGF Toumousséni	GGF Kongouko	GGF Gouandougou	GGF Bounouna
Objets des dépenses	Graines du Néré (matière première pour Soumbala)	Amendes de karité (matière première du beurre de karité)	Pots plastiques	Graines du Néré (matière première pour Soumbala)
	Fruit du Saba sénégalensis (pour le sirop du saba)	Frais de repas des participants aux formations en ouverture des pare-feux	Jolycan	Amendes de karité (matière première du beurre de karité)
	Amendes de karité (matière première du beurre de karité)		Sachets	Pots plastiques
	Réparation des tenues de protection apicoles			Sirop du Saba (sucre) et matériel de production
	Réparation des séchoirs pour la récolte de plantes médicinales			Récipients apicoles Réparation de tenues de protection apicoles

Source : Etabli par la mission d'évaluation finale d'après le tableau réalisé par l'équipe du projet

Résultat 4	Les Plans d'Aménagement et de Gestion (PAG) des 4FC sont élaborés et connaissent un début de mise en œuvre.
IOV 1	Les PAG sont élaborés au nombre de 1 pour chaque forêt classée ciblée, soit au total 4.
IOV 2	Un Guide méthodologique d'aménagement des forêts dans la zone Sud-Soudanienne est élaboré.
IOV 3	Les manuels pratiques de gestion participative et durable des forêts au profit des populations locales sont élaborés au moins pour 8 thèmes.
IOV 4	Les GGF / UGGF commencent à effectuer de façon durable au moins 4 types d'activité de gestion forestière suivant le PAG.

Les plans d'aménagement forestier (PAF), le guide méthodologique d'aménagement forestier, et les manuels pratiques de gestion forestière participative et durable à l'usage des populations locales sont actuellement en cours d'élaboration. Les GGF / UGGF qui ont suivi les formations ont déjà entamé au moins 4 types d'activités de gestion forestière.

« IOV 1 »

1) Opérations déjà réalisées

En vue de l'élaboration des PAG, le projet a déjà réalisé les opérations suivantes :

- les inventaires forestiers des 4 forêts classées avec des relevés sur la présence de la faune ;
- l'étude sur les zones de production des produits forestiers et sur les promoteurs potentiels de ces produits ;
- l'étude sur les potentialités et la valorisation des produits forestiers non ligneux par les populations riveraines des forêts classées ;
- la collecte d'information sur le marché de bois de Banfora ;
- le calendrier d'élaboration des 4 PAG par FC ciblée est déjà fait.

2) Etat d'avancement actuel

La ver.4 des PAG est en cours d'élaboration.

3) Programmation ultérieure

Mars 2012

L'avant-projet du PAG sera finalisé après la réunion d'examen du MEDD.

Avril à mai 2012

L'avant-projet PAF sera validé par le CPAT au niveau provincial.

« IOV 2 »

Sur la base de documents collectés, l'élaboration d'un guide méthodologique d'aménagement des forêts a commencé au cours de la 3^{ème} année, et s'est achevée en cinquième année.

3 ^{ème} année	L'avant-projet du guide vers. 1 a été élaboré.
4 ^{ème} année	L'avant-projet vers. 2 a été élaboré.
5 ^{ème} année	Le projet en japonais et en français est achevé.

« IOV 3 »

Initialement, il était prévu la production de huit (8) manuels pratiques de gestion participative et durable des forêts au profit des populations locales. Finalement, il a été retenu la production de cinq (5) après discussion entre les deux (2) parties dans la mesure où certains manuels existent déjà (carbonisation, production des plants et techniques de coupe).

Nom de manuel	Destinataires de la distribution prévus
Amélioration de la qualité du soumbala	5 ex. x 4 GGF = 20 ex. ; 10 ex. pour DR, services centraux ; 40 ex. au total
Gestion de pâturage	5 ex. x 4 GGF = 20 ex. ; 10 ex. pour DR, services centraux ; 40 ex. au total
Amélioration de la qualité du beurre de Karité	5 ex. x 4 GGF = 20 ex. ; 10 ex. pour DR, services centraux ; 40 ex. au total
Valorisation des plantes médicinales	5 ex. x 4 GGF = 20 ex. ; 10 ex. pour DR, services centraux ; 40 ex. au total
Amélioration de la capacité organisationnelle	10 ex. x 4 GGF = 40 ex. ; 20 ex. pour DR, 10 ex. services centraux, partie japonaise ; 80 ex. au total

Source : Etabli par la mission d'évaluation finale d'après le tableau réalisé par l'équipe du projet

« IOV 4 »

En anticipant la mise en œuvre du PAG, GGF formés pratiquent les activités de production de plants et de plantation, de gestion de feux de brousse, d'amélioration de la qualité du beurre de Karité, d'amélioration de la qualité du Soumbala, d'apiculture moderne, de valorisation des plantes médicinales, de production du bois de feu et de carbonisation.

Résultat 5	<i>Les partenaires locaux et les services forestiers ont une relation de collaboration plus étroite pour la gestion durable des forêts.</i>
IOV 1	<i>Les rencontres avec les acteurs locaux et les représentants des autorités locales et des services techniques concernés se tiennent au moins 3 fois par an.</i>
IOV 2	<i>Un protocole de coopération est passé entre le projet et la Direction Régionale des Cascades.</i>
IOV 3	<i>Les relations de collaboration sont établies avec les sociétés civiles de la localité.</i>

Les échanges à travers les séminaires des acteurs locaux, les sessions du comité de pilotage, ainsi que l'implication des entreprises ou associations locales dans la mise en œuvre du projet ont permis de renforcer les relations de collaboration entre les services forestiers et les différentes parties concernées locales pour pratiquer la gestion durable des forêts.

« IOV 1 »

Le nombre de rencontres annuelles a été réduit à deux (2) au lieu de trois (3), mais les échanges programmés ont été assurés.

Année fiscale	Dates	Type de rencontre
2007	2 août 21 février	Atelier de démarrage du projet 1 ^{ère} session du comité de pilotage
2008	28 mai 20 février	1 ^{er} séminaire des acteurs locaux 2 ^{ème} session du comité de pilotage
2009	19 juin 17 juillet	2 ^{ème} séminaire des acteurs locaux 3 ^{ème} session du comité de pilotage
2010	31 mars 28 mai	4 ^{ème} session du comité de pilotage 3 ^{ème} séminaire des acteurs locaux
2011	8 avril 2 ^{ème} semaine de mai* (annulé)	5 ^{ème} session du comité de pilotage 4 ^{ème} séminaire des acteurs locaux
2012	mars (prévision) avril (prévision)	6 ^{ème} session du comité de pilotage Séminaire de synthèse

* A cause de l'évacuation temporaire des experts japonais

« IOV 2 »

La signature du protocole entre le projet et la DREDD des Cascades était prévue en janvier 2010, mais les deux parties ne sont pas parvenues à signer le protocole jusqu'au jour de l'évaluation finale. En dépit de l'absence du protocole, les relations entre la DREDD et le projet se sont renforcées.

« IOV 3 »

Les activités en collaboration avec 3 entreprises privées et une association (voir le tableau) sont actuellement en cours.

Nom d'entreprise	Type de collaboration
Phytofla (Banfora)	Dans le cadre du partenariat avec la société civile, les Laboratoires Phytofla basés à Banfora, reconnus pour leurs expertises dans la valorisation des plantes médicinales, a établi une collaboration avec les GGF. C'est ainsi que Phytofla s'approvisionne en plantes médicinales (N'Dribala) auprès des GGF formés par les Labos en collaboration avec le projet. Certains GGF ont aménagé des jardins de plantes médicinales en répondant aux demandes des Laboratoires, pour être en état de répondre aux commandes des Laboratoires.
Bomba Techno (Banfora)	Un partenariat a été noué avec l'entreprise ayant des expériences dans la valorisation des fruits d'arbres. Le projet a demandé à cette entreprise l'envoi de formateurs pour les formations des GGF. A travers lesquelles, les techniques d'extraction du sirop des fruits d'arbre pour en fabriquer du jus ont été transférées aux GGF. GGF continueront à vendre de manière stable des fruits d'arbre à l'entreprise.
S.A. A-Dansé	Le projet fournit du beurre de Karité à l'entreprise japonaise « A-Dansé » partenaire du Centre de formation Rakieta, pour la fabrication du savon du beurre de karité. A l'avenir, A-Dansé pourra acheter directement du beurre de karité, en plus du savon, pour en transformer directement en savon au Japon.
Centre de formation Rakieta*	Depuis juillet 2009, des GGF encadrés par le projet fournissent du beurre de Karité à ce Centre de formation. Ce dernier en transforme en savon. Une partie de savons sont exportée au Japon à travers le partenariat entre ce centre et A-Dansé et aussi vendus par le Centre au marché local.

*Rakieta est une grande entreprise burkinabè des transports publics ayant un centre de formation.

Source : Etabli par la mission d'évaluation finale d'après le tableau réalisé par l'équipe du projet

4.1.3 Etat de réalisation de l'objectif du projet

Objectif du projet	Les activités visant la gestion durable des 4 FC de Bounouna, Toumousseni, Gouandougou et Kongouko sont menées par la population locale à travers les GGF et les UGGF.
IOV 1	Les FC ciblées du projet sont dotées du zonage (parcellement) clairement défini qui constitue la base des activités de gestion forestière assurée par les GGF / UGGF.
IOV 2	Les objectifs d'aménagement de chaque FC ciblées sont bien déterminés et les activités de gestion forestière conformes à ces objectifs sont effectuées par les GGF / UGGF de façon durable.

Les activités visant la gestion durable des forêts ont été entamées par les populations locales, à travers les GGF et UGGF, au niveau des 4 FC Bounouna, Toumousséni, Gouandougou et Kongouko.

« IOV 1)

Le zonage (parcellement) a été mis au point conformément aux objectifs de l'aménagement forestier.

3 ^{ème} année	Les limites des unités d'aménagement forestier (sous-zones) sont transcrites sur les cartes d'occupation du sol.
4 ^{ème} année	Les travaux d'aménagement des pistes périmétrales et d'ouverture des limites des unités d'aménagement forestier ont été exécutés au niveau des FC Kongouko et Gouandougou.
5 ^{ème} année	Les travaux ont été exécutés pour l'ouverture des pistes périmétrales et les unités d'aménagement forestier au niveau de la FC Toumousséni, l'ouverture des pistes périmétrales et des limites des sous-zones au niveau de la FC Bounouna. Aux quatre (4) FC, les travaux de confection et d'installation des balises des limites des unités d'aménagement et des panneaux de signalisation de la forêt classée ont été exécutés.

« IOV 2 »

Les objectifs d'aménagement par FC ont été définis comme indiqués ci-dessous. Aujourd'hui, les activités de gestion forestière conformes à ces objectifs sont effectuées par les GGF / UGGF.

Objectif commun aux 4 FC	L'objectif global du présent plan d'aménagement forestier (PAF) est de contribuer à la gestion durable des ressources forestières et à l'amélioration des conditions de vie des populations locales.
Objectifs d'aménagement spécifiques aux FC Toumousséni, Kongouko et Gouandougou	Les objectifs spécifiques du PAF se présente comme suit : <ul style="list-style-type: none"> • Conserver la diversité biologique ; • Ravitailler les centres de consommations telles que les villes de Banfora et de Bobo-Dioulasso en produits forestiers ; • Offrir des opportunités de création des Activités Génératrices de Revenus (AGR) pour les populations locales ; • Assurer la gouvernance locale des ressources naturelles.
Objectifs d'aménagement spécifiques à la FC Bounouna	Les objectifs spécifiques du présent PAF de la FC de Bounouna sont déterminés séparément pour chaque zone. <p>Zone à vocation productif :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Accroître la productivité de la forêt en bois de feu, bois de service, bois d'œuvre et en produits forestiers non ligneux, en vue de ravitailler les grands centres de consommations comme la ville de Banfora et/ou de Bobo-Dioulasso; • Créer des opportunités de revenus en valorisant au maximum les PFNL ; <p>Zone à vocation récréative :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Mettre en place un espace à vocation récréative au sein de la forêt pour servir de cadre à l'éducation environnemental et à la détente ; • Créer des emplois pour les populations locales ; • Prioriser la conservation de la diversité biologique.

Source : Etabli par la mission d'évaluation finale d'après le tableau réalisé par l'équipe du projet

4.2 Examen du processus de la mise en œuvre du projet (Voir l'Annexe-10 pour le détail)

Communication

La communication a été améliorée entre les services techniques et le projet suite aux différentes rencontres de concertation et la prise en compte des préoccupations des uns et des autres.

Recours aux forestiers comme formateurs

A partir d'octobre 2009 (3^{ème} année), il a été décidé de faire recours aux services techniques partenaires comme formateur en techniques de gestion forestière. Le cas de la Directrice provinciale de la Comoé qui a joué le rôle d'assistant-formateur dans le cadre de la formation en gestion de pâturage est un des exemples de bonne collaboration.

Suivi

Suite à la demande exprimée par la partie burkinabè lors de la 2^{ème} session du comité de pilotage, il a été décidé qu'une équipe des services techniques forestiers (DR, DP, DiFor, DSE) assure un suivi trimestriel à partir d'octobre 2009. Mais, aucun suivi n'a été réalisé par l'équipe durant l'année 2010 à 2011. La raison évoquée en est une difficile coordination du calendrier entre les responsables concernés. Sous la supervision de la Directrice provinciale, les agents effectuent les activités de suivi.

Changement de nom de PAG à PAF

Suite à la révision du Code Forestier en date du 5 avril 2011, PAG (plan d'aménagement et de gestion) est devenu PAF (plan d'aménagement forestier) d'après le Code Forestier révisé.

Article 39 du Code Forestier

la gestion des forêts se fait conformément aux prescriptions des plans d'aménagement forestier. Les plans d'aménagement forestier sont élaborés par les services forestiers ou sous leur contrôle. Ils sont approuvés par

arrêté du Ministre chargé des forêts lorsqu'ils concernent les forêts de l'Etat, et par arrêté de l'autorité compétente de la collectivité territoriale décentralisée lorsqu'ils concernent des forêts des collectivités territoriales décentralisées.

Autres facteurs favorables à la mise en œuvre

On peut citer les points suivants comme facteurs favorables à la mise en œuvre du projet :

- Collaboration avec des structures concernées (Ministère de l'Agriculture, Ministère des Ressources Animales, collectivités locales, l'administration générales locale, etc.)
- Mise en valeur des facilitateurs-assistants
- Relations entre les services forestiers (agents forestiers) et les GGF.

Autres facteurs contraignants

On peut citer des points suivants comme facteurs contraignants ayant influé sur le processus de mise en œuvre du projet :

- Divergence de compréhension au début du projet entre la JICA et la partie burkinabè concernant le mode de gestion et d'exécution des budgets du « projet de coopération technique »
- Evacuation temporaire des experts japonais, suite à la dégradation de la situation politique au Burkina Faso en 2011
- Réduction du budget de la contrepartie et retard considérable dans son exécution par la partie burkinabè pour les Années Fiscales 2007 à 2010.

Evolution du PDM

PDM ver.2	PDM ver.3
« But global » La gestion participative et durable des forêts <u>dans la zone Sud-Soudanienne</u> est assurée par la population locale.	« But global » La gestion participative et durable des forêts <u>dans les 4 FC visées par le projet</u> peut être assurée par la population locale.
« Suppression de l'indicateur 1 du but global » Les plans d'aménagement et de gestion participative et durable pour les forêts situées dans la zone Sud-Soudanienne et les activités de gestion forestière durable y sont démarrés par la population locale.	
	« Condition extérieure de l'objectif du projet ajoutée » Les PAF des 4 FC ciblées sont validés par le Gouvernement Burkinabè.
	« Condition extérieure des résultats ajoutée » La sécurité dans la zone d'intervention du projet est assurée.

5. Evaluation par les cinq critères

5.1 Pertinence

La pertinence du projet est jugée « élevée » pour des raisons suivantes.

Le Gouvernement Burkinabè encourage l'aménagement des forêts classées (FC) à travers les GGF, dans le cadre de la Politique Forestière Nationale et du Programme National de Gestion des Ressources Forestières. La valorisation des produits forestiers ligneux et non ligneux sera promue. Ces constats nous permettent de juger que l'objectif du projet s'aligne toujours sur les besoins des groupes cibles, c'est-à-dire, des populations locales, de la Région des Cascades et du Burkina Faso, ce qui démontre la pertinence du présent projet. Le projet est d'autant plus pertinent dans la mesure où il est en adéquation avec la politique nationale burkinabè et celle de l'aide publique au développement (APD) du Gouvernement japonais, qui s'est engagé, lors de la Conférence de TICAD-IV, à renforcer ses appuis aux mesures prises par les pays africains pour lutter contre les effets liés aux changements climatiques.

Les populations locales vivent au dépend des FC dont la gestion est bien règlementé; l'approche visant la gestion durable des forêts à travers les GGF/UGGF est appropriée. L'élaboration des PAF ainsi que leur mise en œuvre contribuera à l'amélioration durable des conditions de vie des populations et à la préservation de la diversité biologique. Dans ce sens, le présent projet est très pertinent.

1/P

5.2 Efficacité

L'efficacité du projet est jugée « élevée » pour des raisons suivantes.

Degré de réalisation de l'objectif du projet

Au niveau des 4 FC, les activités de gestion forestière participative par les GGF/UGGF commencent à être mises en œuvre de manière constante conformément aux plans d'aménagement forestier. Ce qui laisse escompter la réalisation de l'objectif du projet.

Degré de contribution de la réalisation des résultats pour celle de l'objectif du projet

L'avancement des résultats 1 à 5 observé jusqu'à maintenant contribue suffisamment à la réalisation de l'objectif du projet. On peut espérer que la réalisation de l'objectif du projet devienne plus sûre par l'achèvement de l'élaboration des PAG, principal défi du résultat 4, et par l'avancement dans le processus de leur validation.

Changement de conditions extérieures

Concernant l'une des conditions extérieures : « Les PAG des 4 FC ciblées par le projet sont validés par le Gouvernement Burkinabè », citée comme une des préoccupations lors de l'évaluation à mi-parcours, toute la responsabilité est donnée au Directeur Régional des Cascades sur le processus de validation des PAG du niveau provincial jusqu'au niveau central. L'extension de la période du projet permettra d'avancer dans le processus de validation. La partie burkinabè signale néanmoins la difficulté de couvrir les frais d'exploitation des réunions organisées pour la validation des PAG.

5.3 Efficience

L'efficience du projet est jugée « un peu élevée » pour des raisons suivantes.

Efficience des intrants

Les intrants apportés par les deux parties sont jugés globalement appropriés du point de vue quantitatif, qualitatif et du chronogramme, pour contribuer à la réalisation des résultats du projet. Mais la réduction du budget de contrepartie de la partie burkinabè et le retard considérable dans l'exécution budgétaire constituaient un facteur entravant la mise en œuvre du projet. Quant aux intrants de la partie japonaise, à la suite de la 2^{ème} session du comité de pilotage du projet, le budget a été revu à la hausse afin de renforcer davantage la coopération entre le projet et les services forestiers. C'est ainsi qu'une décision a été prise pour la prise en charge des per diem et autres dépenses par la partie japonaise, pour l'atteinte des résultats.

Degré de réalisation des résultats

Au moment de l'évaluation finale, les indicateurs liés aux résultats attendus ne sont pas complètement réalisés. Mais, l'extension de la période du projet permettrait de réaliser les indicateurs des résultats.

Collaboration avec d'autres organismes

Il existe une similitude élevée entre le présent projet et le Projet d'Appui à la Gestion participative des Ressources Naturelles (PAGREN). Le Directeur National du PAGREN et DREDD des Hauts-Bassins où se déroule le projet sont observateurs du comité de pilotage du présent projet et ont octroyé divers conseils au cours du projet. Les membres de l'exécutif des UGGF ont rendu, en décembre 2011, une visite au PAGREN dans le cadre de la formation en renforcement des capacités organisationnelles pour effectuer un échange de vues très animée.

Recours aux moniteurs pour le suivi des activités

Depuis avril 2008, avec la création successive de nouveaux GGF, il est devenu difficile d'assurer par le projet seul le suivi des activités des GGF. Il a été donc décidé en novembre 2008 d'utiliser comme moniteurs six (6) personnes parmi les populations riveraines aux 4 FC. En décembre 2012, sept (7) moniteurs exécutent deux (2) suivis mensuels. Lors de la réunion mensuelle des moniteurs les informations sont partagées, telles que l'état d'avancement des activités des GGF. Ce qui a permis à l'équipe du projet de mieux être informée de changements au sein des GGF. Il a été convenu que les activités de suivi des moniteurs seront relayées par les membres exécutifs des UGGF avant la fin du projet,

5.4 Impacts

Les impacts du projet sont jugés « importants » pour des raisons suivantes.

Impacts positifs

- Amélioration des revenus des GGF

D'après le rapport d'une étude interne² et des interviews auprès de GGF, l'amélioration des revenus et des conditions de vie au niveau des GGF des 4 FC a été constatée. On peut espérer que, par la poursuite des activités du projet par les GGF, les effets se produisent de manière pérenne.

- Effets de répercussion des activités du projet

Les activités du présent projet commencent à être connues par d'autres ONG, comme SOS Sahel. On confirme la possibilité que ces organisations mettent en œuvre des projets d'activités de gestion forestière, en mettant en valeur les GGF et UGGF.

D'après le document d'évaluation interne, ceux qui ne sont pas adhérents aux GGF près des 4 FC ciblées et les populations de villages autour des villages cibles du projet commencent à s'intéresser aux activités des GGF. Au lieu que les FC sont gérées seulement par les membres de GGF, si les populations riverains des FC sont impliqués davantage en tant que membres de GGF, cela pourrait aller dans le sens du vrai plan de gestion forestière par les populations locales.

- Amélioration des relations entre les agents forestiers et les GGF / UGGF

De nos jours, les relations se sont améliorées à tel enseigne que les GGF/UGGF et agents forestiers communiquent de manière franche et permanente, ce qui facilite la mise en œuvre des activités de gestion forestière.

- Prise de conscience au niveau des GGF / UGGF

Suite aux formations faites par le projet, les GGF reconnaissent l'importance des forêts, et savent maintenant que la mise en pratique des activités de gestion forestière selon le plan garantit la pérennité des produits forestiers ligneux et non ligneux et qu'ils peuvent réaliser des recettes en espèce stables par la vente de ces produits. D'ailleurs, les gens qui ont acquis les connaissances sur l'amélioration de la qualité à travers les formations ont consacré des efforts pour améliorer la qualité. Comme résultat de ces efforts, ils sont confiants en leurs produits et se réjouissent de la vente de leurs produits.

- Renforcement de la solidarité au sein des GGF

Dans la mise en pratique de la gestion forestière, les populations locales ont commencé à reconnaître des limites de ce qu'ils peuvent entreprendre individuellement et en même temps l'importance d'agir collectivement en tant que GGF / UGGF. Elles ont pris conscience des avantages liés aux activités organisées, non pas seulement l'aménagement des forêts, mais aussi la commercialisation des produits forestiers ligneux et non ligneux, le développement du partenariat avec les acteurs.

Les membres des GGF formés par le projet assurent à leur tour le transfert de technologie aux nouveaux membres de GGF. La pérennité de ce transfert de technologie entre GGF, même après le projet, est assurée.

Impacts négatifs

Il n'y a rien à signaler.

Degré de réalisation du But global

L'élaboration des PAG est au stade final et le processus de validation est en cours. Des impacts positifs non prévus par le projet sont avérés. Ce qui nous permet de juger qu'il y a une probabilité relativement élevée pour la réalisation du but global, au bout des trois à cinq ans.

Une partie des UGGF essaient actuellement un mécanisme de vente passant par UGGF comme « guichet » pour la vente des produits forestiers ligneux et non ligneux et ce mécanisme commence à fonctionner. A l'avenir, Les UGGF assumeront un rôle central, tout en maintenant de bonnes relations avec des entreprises locales, pour la mise en place de stratégies de vente des produits forestiers ligneux et non ligneux.

5.5 Durabilité

La durabilité du projet est jugée « moyenne » pour des raisons suivantes.

Aspect politique et institutionnel

Etant donné qu'au Burkina Faso, la désertification et la réduction des superficies forestières restent des défis à relever, la ligne directrice des politiques du Gouvernement Burkinabè basée sur la gestion des FC par les GGF / UGGF conformément aux prescriptions des PAG ne changera pas.

L'article 39 du Code Forestier stipule clairement que « la gestion des forêts se fait conformément aux prescriptions des plans d'aménagement forestier. » Au niveau national, sous l'initiative du MEDD, l'élaboration des PAG pour 64 FC que compte le Burkina Faso est poursuivie. Au stade actuel, le nombre de FC dotées de PAG, validés ou non validés est infime, à cause de moyens budgétaires insuffisants. Il est souhaitable que les PAG

² L'étude interne a été réalisée en novembre 2011 avec le bureau exécutif des GGF comme cible.

élaborés par le présent projet puissent servir de modèle pour l'élaboration des PAG d'autres FC.

Aspect organisationnel

La mutation des agents forestiers a lieu tous les deux à trois ans. Si l'agent ayant la compréhension des activités des GGF et de la gestion participative des FC prend le relèvement, il n'y aura pas de problème. Sinon, le maintien des relations de collaboration et d'entraide entre les GGF/UGGF et les services forestiers nécessitera une communication accrue.

D'ailleurs, pour la mise en œuvre pérenne de la gestion forestière participative, il sera primordial d'établir solidement les bases économiques des GGF/UGGF et, pour cela, il sera indispensable de consolider les capacités de gestion organisationnelle, y compris la gestion financière des GGF. Les formations pour le renforcement des capacités des GGF/UGGF se sont succédées depuis le début du projet, il n'en reste pas moins une disparité parmi les GGF/UGGF quant à la consolidation des capacités. Il y aura lieu de prévoir encore beaucoup de temps avant la consolidation durable des capacités.

Il faut que les GGF / UGGF consacrent leurs meilleurs efforts pour maintenir de bonnes relations nouées au cours du projet à l'égard des entreprises privées ou associations.

Aspect financier

Compte tenu du retard dans l'exécution du budget de la contrepartie et de l'extrême insuffisance du budget d'investissement national à l'égard des DR et DP, il est difficilement envisageable de disposer d'un budget suffisant après la fin du projet. Quant aux GGF, la poursuite stable des activités génératrices de revenus par la mise en valeur des produits forestiers et la pratique de la gestion des revenus permettront d'atteindre une certaine autonomie financière. Il sera beaucoup plus réaliste de mettre en place un mécanisme d'exploitation sur propres fonds des GGF/UGGF que de dépendre des dispositions budgétaires de l'Etat. Si, avant la fin du projet, chaque UGGF arrive à mettre en valeur un fonds d'aménagement forestier et à couvrir les frais nécessaires aux agents forestiers pour leurs activités de gestion forestière, cela ouvrira la voie à une poursuite par les agents forestiers de leurs activités, telles que suivies des activités des GGF. Pour la mise en œuvre efficace et durable des activités de gestion forestière, la mise en place des véhicules et équipements nécessaires aux activités de gestion forestière par GGF/UGGF est souhaitable.

D'ailleurs, le rapport de l'étude interne nous a permis de confirmer le montant restant de l'actif de tous les GGF au 31/12/2011. La plupart des GGF possèdent constamment plus de 100 000 FCFA comme actif, tout en poursuivant les activités de gestion forestière. A l'avenir, les recettes réalisées par la vente des produits ligneux et non ligneux ne pourront pas seulement être distribuées aux membres de GGF ou utilisées pour l'achat des consommables et matières premières, mais aussi pourront faire l'objet d'un compte spécial pour constituer un fonds de réinvestissement propre aux GGF. La mise en place d'une pareille marge brute d'autofinancement sera le premier pas vers l'autonomie.

Aspect technique

A partir de la 3^{ème} année, certains GGF mettent en pratique les acquis des formations. Certains habitants adhèrent aux GGF pour acquérir ces techniques. Ceci montre qu'il existe des possibilités de mise en valeur et de vulgarisation des techniques et des produits au sein des GGF. Mais il faudrait encore du temps pour que chaque technique soit complètement consolidée au sein des GGF. En vue d'une consolidation des différentes techniques au sein des GGF dans la période restante du projet, il faudra assurer le suivi et l'évaluation soutenues des activités. D'ailleurs, il sera aussi utile de pratiquer les recyclages visant la consolidation des techniques.

6. Conclusion

Parmi les cinq critères d'évaluation, la pertinence et l'efficacité sont évaluées satisfaisantes. Pour l'efficacité, bien que l'évacuation temporaire des experts japonais suite à la dégradation de la situation politique du pays et les mesures prises contre le retard dans l'exécution budgétaire de la partie burkinabè aient influé plus ou moins sur l'avancement des activités du projet, les efforts déployés et des ingéniosités développées au maximum dans d'autres domaines ont permis d'atteindre un niveau satisfaisant. Pour la durabilité, on constate une insuffisance sur tous les aspects, organisationnel, financier et technique, les efforts accrus seront requis de la part des UGGF/GGF et des parties concernées des services forestiers burkinabè. Pour les impacts, tandis qu'on peut observer beaucoup d'impacts sur le terrain au niveau des FC ciblées, aucun impact n'est évident quant à la répercussion en dehors des FC ciblées, à l'intégration dans les politiques burkinabè, à la vulgarisation des connaissances aux forestiers qui n'ont pas participé au projet. Il faut développer encore des ingéniosités.

7. Recommandations

7.1 Extension de la période de coopération

Les experts japonais ont été évacués temporairement suite à la dégradation de la situation sécuritaire. Cela a entraîné une impossibilité de réaliser une partie des activités dans la limite de la période de coopération du projet. A cet effet, une extension de la période de mise en œuvre du projet de six (6) mois sera nécessaire pour l'atteinte des résultats du projet.

7.2 Validation et valorisation des PAG

Les PAG élaborés par le projet intègrent la vision affichée par la Politique Forestière Nationale, à savoir : « visant à créer des emplois et des revenus stables en faveur des populations locales par la valorisation des ressources naturelles, assurer la conservation et la gestion durables des forêts » et en précisent les méthodologies pratiques. Les enseignements tirés de la méthodologie d'élaboration et de la mise en œuvre des PAG seront exploitables pour les autres FC du pays. Mais, leur utilisation effective au niveau national passera d'abord par la validation au niveau national des PAF élaborés, afin de mettre en place un mécanisme de partage officiel des enseignements tirés et du contenu entre les différentes parties concernées. Pour cela, il est important d'obtenir la validation aux niveaux provincial et régional, avant la fin du projet.

7.3 Valorisation des manuels et du guide

Le projet a élaboré le guide méthodologique d'aménagement des forêts à destination des acteurs, ainsi que les manuels pratiques sur les différentes techniques de gestion forestière participative et durable à destination des acteurs. Puisque ces manuels peuvent être très utiles même en dehors des zones cibles du projet, il sera nécessaire de finaliser les versions adaptées au Burkina Faso au cours de la période restante du projet, et en même temps de déterminer les façons de leur valorisation certaine, telle que la désignation comme matériel didactique au niveau de l'ENEF, afin d'engendrer ainsi des impacts accrus.

7.4 Renforcement des capacités des UGGF des 4 FC

Le rôle des UGGF est d'assurer la coordination des activités des GGF et les relations extérieures vis-à-vis d'autres structures, telles que les services techniques, des grossistes acheteurs de produits. Au cours du projet, les experts japonais et le staff national du projet assumaient plus ou moins le rôle des UGGF. Il faut achever de manière sûre le renforcement des capacités des UGGF, au cours de la période restante du projet, de telle sorte qu'ils soient capables de jouer leur rôle.

7.5 Valorisation des expériences

Avant la fin du projet, les bonnes expériences acquises par les GGF/UGGF en matière de gestion durable des forêts seront répertoriées, capitalisées et diffusées à travers des séminaires ou autres rencontres, à l'endroit de tous les acteurs : ONG, bailleurs de fonds, services techniques.

7.6 Diffusion des résultats de l'évaluation finale

Lors de la prochaine session du comité de pilotage prévue en mars 2012, les résultats de l'évaluation seront communiqués aux membres, afin de procéder à la révision du plan d'exécution du projet.

8. Leçons à tirer

8.1 Harmonisation de la vision du projet

Le projet s'est exécuté conformément à la Politique Forestière Nationale. En effet, il a permis de créer des emplois et des revenus stables en faveur des populations locales par la valorisation des ressources naturelles, tout en assurant la gestion durable des forêts. La gestion participative a été mise à contribution, ce qui a permis d'avoir un modèle réussi de gestion communautaire des forêts. Ce modèle de gestion pourrait faire l'objet de réplique au niveau national. L'harmonisation de la vision majeure du projet au niveau des différents acteurs est un atout capital dans la mise en œuvre du projet. En effet, l'harmonisation facilite la communication, génère les résultats et garantit la durabilité.

8.2 Efficacité des intrants

La réalisation d'infrastructures de petite envergure, telles que les forages (3), les magasins (12 sur 23), et la fourniture d'équipements ont permis de traduire de manière concrète l'amélioration des capacités acquises par les GGF/UGGF à travers les formations et les activités pratiques de gestion forestière. Ce projet s'inscrit dans la coopération technique et la priorité ne peut pas être placée sur l'aménagement d'infrastructure ni la fourniture d'équipements. Cependant, pour le renforcement des acquis du projet, il s'avère impérieux d'équiper les organisations communautaires en matériels et équipements nécessaires. A l'avenir il serait souhaitable de coupler les projets de coopération technique à d'autres projets d'investissement, afin de mieux garantir les résultats escomptés et la durabilité dans les projets d'aménagement forestier.

Annexes

- Annexe-1 Itinéraire de l'équipe d'évaluation
- Annexe-2 PDM vers.3
- Annexe-3 Plan d'opérations
- Annexe-4 Grille d'évaluation
- Annexe-5 Performance des intrants (investissement en moyens humains ; partie burkinabè)
- Annexe-6 Performance des intrants (investissement en moyens humains ; partie japonaise)
- Annexe-7 Performance des intrants (formation au Japon)
- Annexe-8 Performance des intrants (investissement en moyens matériels)
- Annexe-9 Calendrier d'élaboration des PAG
- Annexe-10 Réalisation des activités

17



Annexe-1 Itinéraire de l'équipe d'évaluation finale PROGEPAF/Comoé

	Date		Matière
1	15 Jan.	dim	Arrivée à Ouagadougou de l'équipe japonaise
2	16 Jan.	lun	Entretien au bureau JICA Visite de courtoisie et entretien au SG/MEDD Entretien avec le DGCN et DiFor/MEDD Réunion avec l'équipe d'évaluation burkinabè
3	17 Jan.	mar	Déplacement (Ougadougou à Banfora) Dépouillement d'informations
4	18 Jan.	mer	Interview auprès des experts japonais et homologues (CN, DR, DP) Mise en ordre d'informations des résultats d'auto-évaluation et des réponses au questionnaire
5	19 Jan.	jeu	Interview auprès des experts japonais et homologues (facilitateurs-assistants) Mise en ordre d'informations des résultats d'auto-évaluation et des réponses au questionnaire
6	20 Jan.	ven	Interview auprès des homologues (Chefs des SDEDD de Banfora, de Soubaka, de Sidéra)
7	21 Jan.	sam	Dépouillement de données, mise en ordre d'informations
8	22 Jan.	dim	Dépouillement de données, mise en ordre d'informations
9	23 Jan.	lun	Interview auprès des homologues (Chefs des SDEDD de Tiéfara, DCN/DREDD, comptable du projet)
10	24 Jan.	mar	Enquête sur l'état d'exécution du projet Echange de vues entre l'équipe d'évaluation et le projet Discussion interne à l'équipe d'évaluation conjointe
11	25 Jan.	mer	Visite de courtoisie au Haut-commissaire de la Comoé Discussion interne à l'équipe d'évaluation conjointe
12	26 Jan.	jeu	Etude sur le terrain (2 FC de Gouandougou et de Kongouko) - Visite du SDEDD de Sidéra - Visite des activités et interview auprès des GGF/UGGF Djanga et Gandougou
13	27 Jan.	ven	Etude sur le terrain (2 FC de Bounouna et de Toumousséni) - Visite du SDEDD de Soubaka et de Banfora - Visite des activités et interview auprès des GGF/UGGF Tagnana et Bounouna Visite des entreprises collaboratrices (Laboratoires Phytofla et centre de formation en savonnerie Rakieta)
14	28 Jan.	sam	Discussion interne à l'équipe d'évaluation conjointe
15	29 Jan.	dim	Déplacement (Banfora à Ouagadougou)
16	30 Jan.	lun	Discussion interne à l'équipe d'évaluation conjointe Visite de courtoisie à la DG-Coop Visite de courtoisie au MAECR
17	31 Jan.	mar	Discussion interne à l'équipe d'évaluation conjointe Compte-rendu sur l'ébauche du rapport d'évaluation au SG/MEDD et aux parties concernées
18	01 Fév.	mer	Finalisation du rapport d'évaluation conjointe
19	02 Fév.	jeu	Signature du rapport d'évaluation conjointe Compte-rendu à l'ambassade du Japon
20	03 Fév.	ven	Départ d'Ouagadougou de l'équipe d'évaluation japonaise

Titre de Projet : Projet de Gestion Participative et Durable des Forêts dans la Province de la Comoé

Durée du Projet : 5 ans (Juillet 2007 à Juin 2012)

Structures exécutantes : MECV : SG, DGCN, DIFOR, DR des Cascades, DP de la Comoé

Structures de collaboration : Gouvernorat des Cascades, Haut Commissariat de la Comoé, Communes de Banfora, Thiéfora, Sidéradougou et Soubakaniédougou, DR du MAHRH des Cascades, DR du MRA des Cascades, DR du MPF des Cascades, DGCOOP du MFE

Zone d'intervention : Forêts classées de Bounouna, Toumousséni, Gouandougou et Kongouko et leurs environs

Groupes ciblés : Populations riveraines des 4 forêts classées ciblées, personnel de l'administration forestière

	Indicateurs objectivement vérifiables	Sources de vérification	Conditions extérieures
<p>But Global La gestion participative et durable des forêts dans les quatre forêts classées ciblées par le Projet est assurée par la population locale.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Dans les 4 forêts classées ciblées du Projet, les activités initiées dans ce cadre sont poursuivies par les GGF/UGGF suivant les PAG élaborés. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports d'activités des GGF et UGGF - Rapports de suivi/contrôle des services techniques - Rapport d'études sur la situation des forêts dans la Région des Cascades - Présence physique des réalisations 	<ul style="list-style-type: none"> - La politique nationale en matière de la gestion durable et participative des forêts se poursuit.
<p>Objectif du Projet Les activités visant la gestion durable des 4 forêts classées de Bounouna, Toumousséni, Gouandougou et Kongouko sont menées par la population locale à travers les GGF et les UGGF</p>	<p>Par rapport au moment du commencement du Projet,</p> <ul style="list-style-type: none"> - les forêts classées ciblées du Projet sont dotées du zonage clairement défini qui constitue la base des activités de gestion forestière assurée par les GGF/UGGF. - Les objectifs d'aménagement de chaque forêt classée ciblée sont bien déterminés et les activités de gestion forestière conformes à ces objectifs sont effectuées par les GGF/UGGF de façon durable 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports d'activités des GGF et UGGF - Rapports de suivi/contrôle des services techniques 	<ul style="list-style-type: none"> - La situation socio-économique de la région des Cascades ne se dégrade pas. - L'approbation officielle des PAG des 4 FC est accordée par le gouvernement sans difficulté
<p>Résultats Attendus</p>			
<p>1. Les capacités des services forestiers (centraux et déconcentrés) à appuyer les populations en matière de la gestion participative et durable des forêts sont renforcées.</p>	<p>Les agents forestiers concernés par le Projet ont reçu les formations en gestion participative et durable des forêts au nombre d'au moins 4 au niveau central et 6 au niveau déconcentré et accompagnent efficacement les acteurs locaux.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports d'évaluation des capacités - Rapports d'évaluation des formations - Rapports périodiques du Projet 	<ul style="list-style-type: none"> - Les catastrophes naturelles susceptibles d'affecter les ressources forestières n'arrivent pas. - La bonne gouvernance est assurée à tous les niveaux.
<p>2. Les capacités des GGF et des UGGF des villages concernés sont renforcées en matière de gestion durable des ressources forestières</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 27 GGF et 4 UGGF sont nouvellement créés ou redynamisés. - Les GGF/UGGF commencent à effectuer des activités de gestion forestière en utilisant les techniques acquises avec la formation. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports périodiques du Projet - Récépissés de reconnaissance des GGF et UGGF - Rapports d'activités des GGF et UGGF 	<ul style="list-style-type: none"> - La sécurité est assurée dans la zone d'intervention du Projet.

Résultats Attendus	Indicateurs objectivement vérifiables	Sources de vérification	Conditions extérieures
3. Les conditions de vie des populations locales sont améliorées	<ul style="list-style-type: none"> - Les GGF commencent à effectuer des activités génératrices de revenu en valorisant les produits forestiers ligneux et non ligneux. - Les GGF prennent leurs initiatives pour le réinvestissement en matériels nécessaires à leurs activités.. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports périodiques du Projet - Rapport d'évaluation à mi-parcours - Présence physique des biens et services 	<ul style="list-style-type: none"> - Les catastrophes naturelles susceptibles d'affecter les ressources forestières n'arrivent pas. - La bonne gouvernance est assurée à tous les niveaux. La sécurité est assurée dans la zone d'intervention du Projet.
4. Les Plans d'Aménagement et de Gestion (PAG) des 4 FC sont élaborés et connaissent un début de mise en œuvre.	<ul style="list-style-type: none"> - Les PAG sont élaborés au nombre de 1 pour chaque forêt classée ciblée, soit au total 4. - Un Guide méthodologique d'aménagement des forêts dans la zone Sud - Soudanienne est élaboré. - Les manuels pratiques de gestion participative et durable des forêts au profit des populations locales sont élaborés au moins pour 8 thèmes. - Les GGF/UGGF commencent à effectuer de façon durable au moins 4 types d'activité de gestion forestière suivant le PAG. 	<ul style="list-style-type: none"> - PAG amendés au niveau du MECV - Guide méthodologique d'aménagement des forêts dans la zone sud -soudanienne - Manuels pratiques de gestion participative et durable des forêts 	
5. Les partenaires locaux et les services forestiers ont une relation de collaboration plus étroite pour la gestion durable des forêts	<ul style="list-style-type: none"> - Les rencontres avec les acteurs locaux et les représentants des autorités locales et des services techniques concernés se tiennent au moins 3 fois par an. - Un protocole de coopération est passé entre le Projet et la Direction Régionale du MECV des Cascades. - Les relations de collaboration sont établies avec les sociétés civiles de la localité. 	<ul style="list-style-type: none"> - Comptes rendus des rencontres - Rapports périodiques du Projet - Documents de protocole, contrat 	

Activités à mener	Indicateurs objectivement vérifiables	Sources de vérification	Conditions extérieures
A0.1. Faire la revue des études réalisées ainsi que les résultats des projets similaires	<ul style="list-style-type: none"> - Les documents et les rapports existants (copie et original) sont collectés et consultés. 	<ul style="list-style-type: none"> - Liste de documents collectés - Rapports périodiques du Projet 	
A0.2. Mettre en place le bureau du Projet au niveau local ainsi que les ressources humaines et matérielles nécessaires pour l'exécution des activités	<ul style="list-style-type: none"> - Un bureau de projet est mis à la disposition du Projet. - Le personnel d'appui est recruté dans le cadre du Projet au nombre de 5. - Le Projet est doté de matériels roulants, des équipements informatiques et bureautiques nécessaires à la mise en œuvre des activités du Projet. 	<ul style="list-style-type: none"> - Liste de mobiliers - Rapports périodiques du Projet - Contrats de travail - Fiches de pointage - Présence physique 	
A0.3. Mettre en place un mécanisme de coordination de la mise en œuvre du Projet	<ul style="list-style-type: none"> - Le Coordonnateur National est affecté au Projet par l'arrêté ministériel. - La session du comité de pilotage est tenue 2 fois par an. 	<ul style="list-style-type: none"> - Arrêté ministériel portant nomination du Coordonnateur National - Arrêté ministériel portant mise en place du comité de pilotage - Rapports et/ou comptes-rendus du Projet 	

14

Activités à mener	Indicateurs objectivement vérifiables	Sources de vérification	Conditions extérieures
A1.1. Evaluer les capacités techniques et organisationnelles actuelles des services forestiers au niveau central et déconcentré en vue de leur renforcement	<ul style="list-style-type: none"> - Les sessions d'auto-évaluation sont tenues 1 fois au niveau central et 1 fois au niveau déconcentré - Au moins 10 forestiers y participent au niveau central et au niveau déconcentré. 	<ul style="list-style-type: none"> - Compte-rendu d'évaluation des capacités des forestiers - Rapports périodiques du projet 	
A1.2. Réaliser des formations et des ateliers en matière de conception et de mise en œuvre des plans d'aménagement et de gestion participative des forêts au profit des services forestiers	<ul style="list-style-type: none"> - Les sessions de formation sont tenues 2 fois au niveau central et 2 fois au niveau déconcentré. - La formation traite au moins 2 thèmes. - Les forestiers y participent au nombre cumulé de 20 (10x2) au niveau central et de 20 (10x2) au niveau déconcentré. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de formation - Rapports périodiques du Projet 	
A1.3. Réaliser des formations sur les techniques de gestion participative et durable des forêts au profit des agents forestiers	<ul style="list-style-type: none"> - Les sessions de formation sont tenues 2 fois au niveau déconcentré. - Les forestiers y participent au nombre cumulé d'au moins 20 (10x2). 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de formation - Rapports périodiques du Projet 	
A1.4. Réaliser des formations sur le suivi – évaluation des activités de gestion participative et durable des forêts au profit des agents forestiers	<ul style="list-style-type: none"> - Les sessions de formation sont tenues 1 fois au niveau central et 1 fois au niveau déconcentré. - Les forestiers y participent au nombre de 10 (10x1) au niveau central et 10 (10x1) au niveau déconcentré. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de formation - Rapports périodiques du Projet 	
A1.5. Faire le suivi/contrôle périodique par l'équipe des forestiers concernés*1	<ul style="list-style-type: none"> - Le suivi est effectué 1 fois par trimestre, soit 4 fois par an. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de suivi (préparé par l'équipe de suivi) 	

*1 : L'équipe des forestiers est composée du DR des Cascades, de la DP de la Comoé, d'un représentant du SAFOR/DIFOR et un représentant du Suivi-Ecologique et de la Statistique

-57-

Activités à mener	Indicateurs objectivement vérifiables	Sources de vérification	Conditions extérieures
A2.1. Evaluer les capacités techniques et organisationnelles actuelles des GGF et des UGGF existants	<ul style="list-style-type: none"> - La rencontre d'évaluation est effectuée 1 fois par village, soit au total 24 fois. 	<ul style="list-style-type: none"> - Compte-rendu de rencontre d'évaluation - Rapports périodiques du Projet 	
A2.2. Renforcer les capacités techniques et organisationnelles des GGF et des UGGF existants dans les villages concernés par le Projet	<ul style="list-style-type: none"> - Les sessions de formation sont tenues 2 fois. - Les membres de bureaux sont renouvelés dans 13 GGF existants. - La formation est effectuée avec les thèmes de « Prise en note et gestion comptable » et « Planification ». 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de formation - Rapports périodiques du Projet - Procès-verbaux d'assemblée générale 	
A2.3. Promouvoir la création de nouveaux GGF et UGGF dans les villages riverains des 4 FC	<ul style="list-style-type: none"> - 14 GGF et 2 UGGF respectivement pour la FC de Gouandougou et celle de Kongouko sont nouvellement créés. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports périodiques du Projet - Procès-verbaux de création de GGF - Récépissés de reconnaissance 	

A2.4. Réaliser des formations sur les techniques de gestion forestière (pépinière, plantation, gestion des feux, exploitation du bois de chauffe, bois d'œuvre, carbonisation, PFNL, etc.)*2	<ul style="list-style-type: none"> - Les sessions de formation avec 8 thèmes différents sont tenues au moins 1 fois pour 1 GGF, soit au total 216 (8 x 27). - Au moins 10 membres de GGF y participent pour une session, soit au total 2160 (10 x 216). 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de formation - Rapports périodiques du Projet 	
A2.5. Réaliser des formations sur les techniques de négociation et de vente des produits forestiers au profit des GGF et des UGGF	<ul style="list-style-type: none"> - Les sessions de formation sont tenues 1 fois par GGF, soit au total 27 fois. - Les membres de GGF y participent au nombre d'au moins 10 par GGF, soit au total 270 (10 x 27). 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de formation - Rapports périodiques du Projet 	
A2.6. Réaliser les formations sur le suivi-évaluation des activités des GGF et des UGGF	<ul style="list-style-type: none"> - Les sessions de formation sont tenues 1 fois par GGF, soit au total 27 fois. - Les membres de GGF y participent au nombre d'au moins 10 par GGF, soit au total 270 (10 x 27). 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de formation - Rapports périodiques du Projet 	

*2 : Mode de mise en œuvre : par le bureau d'étude et/ou par le personnel de service technique d'Etat avec le Projet

Activités à mener	Indicateurs objectivement vérifiables	Sources de vérification	Conditions extérieures
A3.1. Evaluer les besoins en infrastructures et équipements socio-économiques prioritaires de la population locale et analyser leur faisabilité	<ul style="list-style-type: none"> - Une liste des besoins identifiés est établie avec la mention de faisabilité 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports périodiques du Projet 	
A3.2. Planifier et réaliser des activités visant la valorisation des ressources ligneuses et non ligneuses par la population locale	<ul style="list-style-type: none"> - Au moins 6 types d'activité*3 sont sélectionnées parmi celles énumérées par les membres de GGF et ces activités sont planifiées et mises en œuvre. 	<ul style="list-style-type: none"> - Plans élaborés - Rapports périodiques du Projet - Produits valorisés 	
A3.3. Planifier et réaliser des activités visant la satisfaction des besoins en infrastructures socio-économiques prioritaires retenues au profit de la population locale	<ul style="list-style-type: none"> - Au moins 1 type d'infrastructures est sélectionné parmi ceux énumérés par les membres de GGF et l'aménagement de ce type d'infrastructure est planifié et réalisé. 	<ul style="list-style-type: none"> - Plans élaborés - Rapports périodiques du Projet - Réalisations physiques 	

*3 : Production de bois de chauffe, production de charbon de bois, Amélioration de la qualité de beurre de Karité, Valorisation des plantes médicinales, Apiculture, Amélioration de la qualité de Soubala,

Activités à mener	Indicateurs objectivement vérifiables	Sources de vérification	Conditions extérieures
A4.1. Elaborer le PAG de chaque FC	<ul style="list-style-type: none"> - 1 PAG est élaboré pour chaque FC ciblée, soit au total 4. 	<ul style="list-style-type: none"> - Documents PAG adoptés - Rapports périodiques du Projet 	
A4.2. Démarrer les activités de gestion forestière conformément aux prescriptions des PAG élaborés	<ul style="list-style-type: none"> - L'élaboration de PAG commence en octobre 2009 et les activités concrètes suivant le PAG sont démarrées en octobre 2010. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports périodiques du Projet - Réalisations physiques 	
A4.3. Elaborer un guide méthodologique d'aménagement des forêts dans la zone sud-soudanienne du pays	<ul style="list-style-type: none"> - Un guide méthodologique d'aménagement des forêts dans la zone sud-soudanienne est élaboré. 	<ul style="list-style-type: none"> - Document guide - Rapports périodiques du Projet - Rapport d'atelier d'adoption - Comptes-rendus de rencontres d'élaboration 	
A4.4. Etablir des guides pratiques appropriés pour la population locale en matière de gestion forestière participative	<ul style="list-style-type: none"> - Les manuels pratiques pour 8 thèmes différents sont élaborés. 	<ul style="list-style-type: none"> - Documents manuels - Rapports périodiques du Projet 	

Activités à mener	Indicateurs objectivement vérifiables	Sources de vérification	Conditions préalables
A5.1. Organiser des séminaires pour présenter le Projet aux autorités locales et aux services concernés	<ul style="list-style-type: none"> - Le séminaire des acteurs locaux est organisé 1 fois par an, soit au total 5 fois durant le Projet. - Au moins 80 participants sont présents dans chaque séminaire. 	<ul style="list-style-type: none"> - Comptes-rendus de séminaire - Rapports périodiques du Projet 	La politique gouvernementale du BF en matière de gestion participative et durable des forêts existe.
A5.2. Réaliser des échanges et diffuser des informations sur le Projet à travers des rencontres techniques, des rapports d'activités et des différents canaux d'information	<ul style="list-style-type: none"> - La session du comité de pilotage est tenue 2 fois par an, soit au total 10 fois durant le Projet. - Au moins 29 types de rapports d'activités sont préparés. - Le journal de Projet est publié 12 fois. - Le voyage d'étude est organisé 3 fois. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports périodiques du Projet - Comptes-rendus de Comité de pilotage - « New Letters » publiés - Comptes-rendus de voyage d'étude - Rapport d'atelier de restitution 	
A5.3. Appuyer le service forestier pour la supervision des activités forestières programmées dans les Plans de Développement Communal des Communes concernées	<ul style="list-style-type: none"> - Les forestiers concernés effectuent au moins 1 fois par trimestre, soit 4 fois par an une supervision des activités du secteur forestier incluses dans le Plan de Développement Communal. 	<ul style="list-style-type: none"> - Rapports de supervision - Rapports périodiques du Projet : - Réalisations physiques 	

« Intrants »

Partie japonaise :

• Experts japonais

- Conseiller Technique Principal
- Expert en gestion participative des forêts
- Gestionnaire financier
- Autres experts selon les besoins de l'étude afin de mettre en œuvre efficacement le Projet

• Equipement :

- Véhicule(s) tout terrain
- Moto(s) tout terrain
- Equipements pour la gestion forestière
- Equipements pour la mise en œuvre des activités visant l'amélioration des conditions de vie de la population locale
- Autres équipements nécessaires

• Formation du personnel burkinabè au Japon

Partie burkinabè :

• Personnel homologue du Projet

- Directeur des Forêts
- Directeur de la DRECV des Cascades
- Directeur de la DPECV de la Comoé
- Coordonnateur du Projet
- Agents forestiers concernés

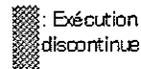
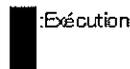
• Personnel d'appui :

- Secrétaire/comptable
- Agent de liaison
- Chauffeur
- Gardien

• Locaux et commodités :

- Locaux (bureau et magasin) nécessaire pour l'exécution du Projet
- Eau et électricité nécessaires pour l'exécution du Projet
- Autres commodités jugées nécessaires d'un commun accord

• Dépenses courantes



Activité	Responsable	2007		2008		2009		2010		2011		2012		Remarques	
		Jan	Avr	Juillet	Oct	Jan	Avr	Juillet	Oct	Jan	Avr	Juillet	Oct		Jan
0.Préparatifs															
0-1	Faire la revue des études réalisées ainsi que les résultats des projets similaires	Experts japonais, CN													
0-2	Mettre en place le bureau du Projet au niveau local ainsi que les ressources humaines et matérielles nécessaires pour l'exécution des activités	DRECV, CTR, DIFor													
0-3	Mettre en place un mécanisme de coordination de la mise en oeuvre du Projet	DGCH, DIFor													
1."Les capacités des services forestiers (centraux et déconcentrés) à appuyer les populations en matière de la gestion participative et durable des forêts sont renforcées."															
1-1	Evaluer les capacités techniques et organisationnelles actuelles des services forestiers au niveau central et déconcentré en vue de leur renforcement	DRECV DPECV													
1-2	Réaliser des formations et des ateliers en matière de conception et de mise en oeuvre des plans d'aménagement et de gestion participative des forêts au profit des services forestiers.	DIFor DRECV DPECV													
1-3	Réaliser des formations et des ateliers en matière de conception et de mise en oeuvre des plans d'aménagement et de gestion participative des forêts au profit des services forestiers.	DRECV DPECV													
1-4	Réaliser des formations sur le suivi – évaluation des activités de gestion participative et durable des forêts au profit des agents forestiers.	DRECV DPECV													
1-5	Faire le suivi périodique par l'équipe des forestiers concernés	DRECV DPECV												Les suivis des activités de GGF par les forestiers seront appuyés par le Projet pour non seulement les responsables des structures centrales, régionales et provinciales mais aussi les agents forestiers départementaux.	

-09-

Annexe-4 Grille d'évaluation

Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude
	Rubriques	Subdivisions			
Réalizations	Degré de réalisation des résultats attendus	Résultat 1 : Les capacités des services forestiers (centraux et déconcentrés) à appuyer les populations en matière de la gestion participative et durable des forêts sont renforcées.	Indicateur 1 : Les agents forestiers concernés par le Projet ont reçu les formations en gestion participative et durable des forêts au nombre d'au moins 4 au niveau central et 6 au niveau déconcentré et accompagnent efficacement les acteurs locaux. <ul style="list-style-type: none"> • Nombre de séances de formation organisées au niveau central et au niveau déconcentré • Les agents forestiers se sont approchés de leur manière d'être recherchée (à comparer avec les résultats de l'analyse faite au début du projet sur les capacités technique et organisationnelle des services de l'administration forestière au niveau central et au niveau déconcentré) • Contenu de leurs activités en tant qu'agents forestiers • Contenu des travaux faits en collaboration avec les parties prenantes locales ; relation réciproque 	Documents du projet ; Experts JICA ; Agents forestiers ; Populations locales	Interview ; Revue de documents ; Questionnaires
		Résultat 2 : Les capacités des GGF et des UGGF des villages concernées sont renforcées en matière de gestion durable des ressources forestières.	Indicateur 1 : 27 GGF et 4 UGGF sont nouvellement créés ou redynamisés. <ul style="list-style-type: none"> • Nombre actuel de GGF et d'UGGF • Possibilité de poursuite des activités pérennes par ces 27 GGF et 4 UGGF Indicateur 2 : Les GGF / UGGF commencent à effectuer des activités de gestion forestière en utilisant les techniques acquises avec la formation. <ul style="list-style-type: none"> • Etat d'amélioration des activités forestières (leurs natures, fréquence, etc.) 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues ; GGF / UGGF	Interview ; Revue de documents ; Questionnaires
		Résultat 3 : Les conditions de vie des populations locales sont améliorées.	Indicateur 1 : Les GGF commencent à effectuer des activités génératrices de revenu en valorisant les produits forestiers ligneux et non ligneux <ul style="list-style-type: none"> • Nom de GGF effectuant des activités ; nature d'activités ; indice d'augmentation du revenu Indicateur 2 : Les GGF prennent leurs initiatives pour le réinvestissement en matériels nécessaires à leurs activités. <ul style="list-style-type: none"> • Nom de GGF qui ont réinvesti ; nature d'activités ; objets de réinvestissement « Evaluation qualitative » <ul style="list-style-type: none"> • Existence ou absence d'activités mettant en valeur des produits ligneux et des ressources forestières ; leur contenu • Existence ou absence d'activités visant à améliorer les modes de 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues ; GGF / UGGF	Interview ; Revue de documents ; Questionnaires

12

		<p>production ; leur contenu</p> <ul style="list-style-type: none"> Contenu des activités d'amélioration des conditions de vie Degré de satisfaction des populations locales 		
Degré de réalisation des résultats attendus	<p>Résultat 4 : Les Plans d'Aménagement et de Gestion (PAG) des 4FC sont élaborés et connaissent un début de mise en œuvre.</p> <p>Plan d'aménagement : consiste à effectuer le zonage dans un domaine forestier, afin de déterminer les opérations par zones, comprenant des études afférentes, etc.</p> <p>Plan de gestion : consiste à préciser en détail les opérations par zones programmées par le plan d'aménagement (âges de rotation, cycle de coupe, volume de coupe annuelle, intrants, etc.)</p>	<p>Indicateur 1 : Les PAG sont élaborés au nombre de 1 pour chaque forêt classée ciblée, soit au total 4.</p> <ul style="list-style-type: none"> Etat d'avancement des travaux d'élaboration des PAG à chaque FC ; date d'achèvement prévue <p>Indicateur 2 : Un Guide méthodologique d'aménagement des forêts dans la zone Sud-Soudanienne est élaboré.</p> <ul style="list-style-type: none"> Etat d'avancement du Guide méthodologique d'aménagement des forêts (date d'achèvement ; destinataires et modes de distribution) <p>Indicateur 3 : Les manuels pratiques de gestion participative et durable des forêts au profit des populations locales sont élaborés au moins pour 8 thèmes.</p> <ul style="list-style-type: none"> Etat d'avancement des manuels pratiques de gestion participative et durable des forêts (date d'achèvement ; destinataires et modes de distribution) <p>Indicateur 4 : Les GGF / UGGF commencent à effectuer de façon durable au moins 4 types d'activité de gestion forestière suivant le PAG.</p> <ul style="list-style-type: none"> Etat d'assimilation des techniques liées aux activités de gestion forestière Nombre de GGF / UGGF en activité 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues ; GGF / UGGF	Interview ; Revue de documents ; Questionnaires
	<p>Résultat 5 : Les partenaires locaux et les services forestiers ont une relation de collaboration plus étroite pour la gestion durable des forêts.</p>	<p>Indicateur 1 : Les rencontres avec les acteurs locaux et les représentants des autorités locales et des services techniques concernés se tiennent au moins 3 fois par an.</p> <ul style="list-style-type: none"> Nombre de rencontres organisées Acquis de ces rencontres <p>Indicateur 2 : Un protocole de coopération est passé entre le Projet et la Direction Régionale des Cascades.</p> <ul style="list-style-type: none"> Etat d'avancement du protocole de coopération <p>Indicateur 3 : Les relations de collaboration sont établies avec les société civiles de la localité.</p> <ul style="list-style-type: none"> Des exemples de collaboration entre le Projet et des entreprises ou organisations locales 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues ;	Interview ; Revue de documents ; Questionnaires

174

-59-

Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude	
	Rubriques	Subdivisions				
Réalizations	Degré de réalisation de l'objectif du projet	Du point de vue des intrants, des résultats et des activités réalisés, l'objectif du projet : « les activités visant la gestion durable des 4 FC de Bounouna, Toumousseni, Gouandougou et Kongouko sont menées par la population locale à travers les GGF et les UGGF » sera-t-il atteint ?	<p>Indicateur 1 : (Par rapport au moment du commencement du projet,) les FC ciblées du projet sont dotées du zonage clairement défini qui constitue la base des activités de gestion forestière assurée par les GGF / UGGF.</p> <ul style="list-style-type: none"> Etat d'avancement du zonage <p>Indicateur 2 : (Par rapport au moment du commencement du projet,) les objectifs d'aménagement de chaque FC ciblées sont bien déterminés et les activités de gestion forestière conformes à ces objectifs sont effectuées par les GGF / UGGF de façon durable.</p> <ul style="list-style-type: none"> Définition des objectifs d'aménagement des forêts à chaque FC Contenu des activités de gestion forestière et leur durabilité « Degré d'achèvement » Perspective sur la réalisation de l'objectif, avec justifications 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues ; GGF / UGGF	Interview ; Revue de documents ; Questionnaires	
		Toutes les parties prenantes du projet partagent-ils les points de vue communs ?	<ul style="list-style-type: none"> Compréhension des indicateurs ; existence ou absence de points de vue communs 			Experts JICA ; Homologues ;
	Degré de réalisation du but global	Le but global : « la gestion participative et durable des forêts dans les 4 FC visées par le projet peut être assurée par la population locale » sera-t-il atteint au bout des 3 à 5 ans après la fin du projet ?	<p>Indicateur 1 : Dans les 4 FC ciblées par le projet, les activités initiées dans ce cadre sont poursuivies par les GGF/UGGF suivant les PAG élaborés.</p> <ul style="list-style-type: none"> Contenu des activités mises en œuvre <p>« Degré d'achèvement »</p> <ul style="list-style-type: none"> Perspective sur la réalisation de l'objectif, avec justifications 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues ; GGF / UGGF	Interview ; Revue de documents ; Questionnaires	
	Performance des intrants	Les intrants de la partie burkinabè ont-ils été réalisés comme programmé ?			Tableaux de réalisation des intrants ; Experts JICA ;	Revue de documents ; Interview
		Personnel		Nombre d'homologues, leurs grades		
		Dispositif d'exploitation et d'exécution du projet		Dispositif d'exploitation et d'exécution du projet		
		Installation		Mise à la disposition d'un bureau		
		Matériel et équipements		Nature, quantité, timing de fourniture d'équipements		
		Budget		Montant total des coûts, timing		
		Les intrants de la partie japonaise ont-ils été réalisés comme programmé ?				
Personnel			Nombre d'experts JICA ; domaines d'expertise ; durée d'expédition ; timing			
Dispositif d'exploitation et d'exécution du projet			Nombre de séances de formation ; objectifs ; contenu ; nombre de participants ; durée ; timing			
Installation			Dispositif et d'exploitation et d'exécution du projet			
Matériel et équipements		Nature, quantité, timing de fourniture d'équipements				
Budget		Montant total des coûts ; timing				

12

-99-

Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude
	Rubriques	Subdivisions			
Processus de mise en œuvre	Avancement des activités	Les activités ont-elles été menées comme programmées ?	<ul style="list-style-type: none"> Existence ou absence des modifications dans les PO et PDM ; contenu des modifications Etat d'avancement des activités 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
		Existe-t-il des facteurs positifs ou négatifs qui ont eu des impacts sur le déroulement des activités ?	<ul style="list-style-type: none"> Facteurs positifs ou négatifs qui ont eu des impacts sur le déroulement des activités 		
		Quelles étaient les mesures prises à l'apparition de problèmes (y compris des facteurs négatifs) ?	<ul style="list-style-type: none"> Contre-mesures prises ; solutions apportées 		
	Prise de décision	Le Processus de prise de décision dans le projet	<ul style="list-style-type: none"> Processus de prise de décision Mise en valeur des ressources et expériences de la partie burkinabè Fréquence d'organisation du Comité de Pilotage (fois, participants) Autres réunions (fois, participants) 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
	Communication	La communication au sein du projet se faisait-elle efficacement ? Les informations ont-elles été partagées ?	<ul style="list-style-type: none"> Fréquence de réunions internes à l'équipe d'experts du projet ; entre l'équipe et des homologues ; entre les homologues (au niveau central, régional, provincial) ; leurs méthodes ; leur contenu, degré d'intégration Démarches suite à la modification des PO et PDM Existence ou absence de problématiques liées à la communication ; mesures prises 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
		La communication entre les parties concernées par le projet, le siège JICA, le bureau JICA au Burkina Faso, d'autres organismes de collaboration se faisait-elle efficacement ?	<ul style="list-style-type: none"> Fréquence de rencontres ; méthodologies ; contenu de collaboration (vis-à-vis de la JICA) Nom d'organisme ; fréquence de rencontres ; méthodologies ; contenu de collaboration (vis-à-vis d'autres bailleurs de fonds) 	Documents du projet ; Experts JICA	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
	Suivi-monitoring	Le suivi périodique a-t-il été assuré ? A-t-il été assuré par quelles méthodes ?	<ul style="list-style-type: none"> Dispositif du suivi-monitoring (qui prend l'initiative de conduire le suivi ; fréquence ; participants) Existence ou absence d'un système du suivi-monitoring Acquis du suivi-monitoring (fois, participants) 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
		Comment les résultats du suivi ont-ils été reflétés dans les activités du projet ?	<ul style="list-style-type: none"> Etat de valorisation des résultats du suivi-monitoring Procédé de partage des résultats du suivi parmi les parties concernées du projet 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
		Des corrections ont-elles été	<ul style="list-style-type: none"> Déroulement et raisons des modifications des PO et PDM 	Documents du	Revue de

12

	apportées au PO, au PDM d'après les résultats du suivi ? Si c'est le cas, étaient-elles appropriées ?	<ul style="list-style-type: none">Processus de modification	projet ; Experts JICA ; Homologues ;	documents ; Questionnaires ; Interview
Changement dans les conditions extérieures	Y a-t-il eu des changements dans les conditions extérieures ? Ont-ils eu des effets sur le projet ? Les réactions ont-elles été appropriées ?	<ul style="list-style-type: none">Existence de changement des conditions extérieuresImpacts sur le projet et des réactions contre ces impacts	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview

Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude
	Rubriques	Subdivisions			
Processus de mise en œuvre	Dispositif d'exécution	Y a-t-il eu des changements dans le dispositif d'exécution du projet au cours de sa mise en œuvre ?	<ul style="list-style-type: none"> Existence ou absence des modifications dans le dispositif d'exécution Impacts positifs ou négatifs générés par ces modifications 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
	Rôle des parties concernées par le projet	Le rôle à jouer de la DiFor/MEDD, de la DREDD-Cascades, de la DPEDD-Comoé a-t-il été clairement défini ? Ce rôle était-il bien compris par chaque organisme ?	<ul style="list-style-type: none"> Rôle respectif des DiFor, DREDD-Cascades, DPEDD-Comoé ; degré d'assimilation de ces rôles Rôle respectif des GGF et des UGGF ; degré d'assimilation de ces rôles 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues ; GGF / UGGF	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
		Le rôle à jouer des GGF et des UGGF a-t-il été clairement défini ? Ce rôle était-il bien compris par chaque groupement, chaque union ?			
		Les homologues ont-ils participé au projet comme programmé ?	<ul style="list-style-type: none"> Situation d'activités et de participation des homologues Fréquence de leur communication avec des experts japonais (comme compte-rendu d'activités, etc.) 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview
	Les activités entamées sous l'initiative des experts au début du projet ont-ils été prises en main par des homologues de leur propre initiative ?	<ul style="list-style-type: none"> Qui prend l'initiative d'exécuter les activités Existence ou absence de problématiques pour les activités conduites sous l'initiative des homologues 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview	
Collaboration avec des organismes concernés	La coopération et la collaboration avec d'autres organismes.	<ul style="list-style-type: none"> Coopération ou collaboration avec d'autres organismes Conseil Villageois de Développement (CVD), associations, etc. 	Documents du projet ; Experts JICA ; Homologues	Revue de documents ; Questionnaires ; Interview	

Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude
	Rubriques	Subdivisions			
Pertinence	Pertinence de la conception du projet	Le But global et l'objectif du projet s'alignent-ils sur les politiques du développement socio-économique du Burkina Faso ?	<ul style="list-style-type: none"> Plan d'Action National pour l'Environnement (PANE) Politique Forestière Nationale (PFN) Programme National d'Aménagement des Forêts (PNAF) D'autres documents 	PANE ; PFN ; PNAF ; autres documents	Revue de documents
		Le but global est-il pertinent par rapport aux politiques japonaises des aides ?	<ul style="list-style-type: none"> Plan d'aide par pays vis-à-vis du Burkina Faso 	Principes de l'APD japonaise ; Plan d'aide par pays	Revue de documents
		L'objectif du projet répond-il aux besoins du Burkina Faso et des organismes concernés ?	<ul style="list-style-type: none"> Besoins des organismes concernés Plan d'Action National pour l'Environnement (PANE) Politique Forestière Nationale (PFN) Programme National d'Aménagement des Forêts (PNAF) 	PANE ; PFN ; PNAF ; autres documents	Interview ; revue de documents
		Le choix du groupe cible était-il pertinent ?	<ul style="list-style-type: none"> Mode de sélection des groupes cibles, requis pour la mise en œuvre, la poursuite de projet Existence ou absence de changement des besoins des groupes cibles au cours de la mise en œuvre du projet 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Interview ; revue de documents
		La sélection des zones cibles a-t-elle été judicieuse ?	<ul style="list-style-type: none"> Critères et justification de détermination des zones cibles Compréhension des ressources potentielles existant dans les zones cibles 	Documents du projet ; experts ; homologues	Interview ; revue de documents
	Pertinence des moyens	Le projet est-il pertinent comme moyen de promotion des activités de gestion forestière participative et durable ?	<ul style="list-style-type: none"> Pertinence en tant que moyens Etat de valorisation du savoir-faire des parties japonaise et burkinabè Choix des modes de coopération ou des méthodes adaptés aux situations locales 	Documents du projet ; experts JICA	Revue de documents ; interview
		Les approches du projet étaient-elles pertinentes ?	<ul style="list-style-type: none"> Construction logique des activités, aux résultats, à l'objectif du projet, au but global planifié est-elle pertinente ? 	Documents du projet ; experts JICA	Revue de documents ; interview
	Atout des techniques japonaises	La JICA a-t-il conduit des appuis similaires dans d'autres pays ? Les connaissances et expériences suffisantes sont-elles accumulées ?	<ul style="list-style-type: none"> Archives de la coopération japonaise au Burkina Faso Evaluation des techniques et connaissances japonaises par des homologues 	Bureau JICA au BF ; experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires
	Changement dans l'environnement du projet	Y a-t-il eu des changements dans l'environnement du projet (y compris dans les tendances des aides par bailleurs de fonds) ? Ces changements ont-ils eu des impacts	<ul style="list-style-type: none"> Informations liées aux évolutions politiques, économiques et sociales Evolution des tendances des aides d'autres bailleurs de fonds 	Autres bailleurs de fonds ; documents du projet	Interview ; revue de documents

		sur le projet ?			
	Coordination, coopération avec d'autres bailleurs de fonds ou programmes	Y a-t-il eu une coordination ou coopération avec d'autres bailleurs de fonds ou programmes, visant à générer une synergie ?	<ul style="list-style-type: none"> Existence ou absence de la coordination ou de la coopération d'aides Contenu de la coordination ou de la coopération d'aides ; bailleurs de fonds ou programmes 	Experts JICA ; bailleurs de fonds ; bureau JICA au BF	Interview ; revue de documents
Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude
	Rubriques	Subdivisions			
Efficacité	Possibilité de réalisation de l'objectif du projet	Etant donné l'état de réalisation des intrants, des activités et des résultats, l'objectif du projet a-t-il la possibilité d'être atteint ?	<ul style="list-style-type: none"> Evolution des indicateurs du projet Etat d'avancement des réalisations du projet 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	revue de documents ; interview ; questionnaires
		Y a-t-il eu des changements dans les conditions extérieures conduisant des résultats à l'objectif du projet ?	<ul style="list-style-type: none"> Evolution des conditions extérieures : « La situation socio-économique de la région des Cascades ne se dégrade pas » ; « L'approbation officielle des PAG des 4 FC est accordée par le gouvernement » 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires ; revue de documents
	Relations réciproques entre les résultats et l'objectif du projet	Les résultats 1 à 5 sont-ils suffisants pour réaliser l'objectif du projet ?	<ul style="list-style-type: none"> Construction logique du plan à confirmer du point de vue des conditions extérieures et relations causales Etat de réalisation de chaque résultat Résultat 1 : Amélioration des capacités d'appui des services de l'administration forestière Résultat 2 : Amélioration des capacités de gestion forestière durable des GGF et des UGGF Résultat 3 : Amélioration des conditions de vie des populations locales Résultat 4 : Elaboration des PAG pour chaque FC Résultat 5 : Promotion des liens de collaboration avec les services de l'administration forestière	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires ; revue de documents
		Les conditions extérieures sont-elles remplies pour permettre la réalisation de l'objectif du projet ?	<ul style="list-style-type: none"> Etat actuel des conditions extérieures : « Les catastrophes naturelles susceptibles d'affecter les ressources forestières n'arrivent pas » ; « La bonne gouvernance est assurée à tous les niveaux » ; « La sécurité est assurée dans les zones cibles du projet » 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires ; revue de documents

Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude
	Rubriques	Subdivisions			
Efficience	Etat de réalisation des résultats	Les résultats ont-ils été produits comme planifiés ?	<ul style="list-style-type: none"> Archives sur l'état de production des résultats Enregistrement des activités 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Revue de documents ; questionnaires ; interview
		Y a-t-il eu des facteurs favorisant la réalisation des résultats ?	<ul style="list-style-type: none"> Existence ou absence des facteurs favorables (collaboration avec JOCV, groupements bénévoles, etc.) 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Revue de documents ; questionnaires ; interview
		Y a-t-il eu des facteurs contraignant à la réalisation des résultats ?	<ul style="list-style-type: none"> Existence ou absence des facteurs entravant et mesures prises 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Revue de documents ; questionnaires ; interview
	Relations réciproques des intrants, des activités, des résultats	Les conditions extérieures sont-ils remplies pour l'atteinte des résultats ?	<ul style="list-style-type: none"> Etat actuel concernant : « La politique nationale en matière de la gestion durable et participative des forêts se poursuit » 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Revue de documents ; questionnaires ; interview
		Les intrants étaient-ils suffisants ou insuffisants du point de vue de leur quantité, de leur qualité et du timing ?	Experts japonais (nombre, domaine d'expertise, timing)	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Revue de documents ; questionnaires ; interview
			Matériel et équipements fournis par la partie japonaise (nature, types, nombre, timing)		
			Frais pris en charge par la partie japonaise (coûts locaux)		
			Matériel et équipements fournis par la partie burkinabè (nature, types, nombre, timing)		
			Formation au Japon (nombre de séances, objectifs, contenu, nombre de participants, durée, timing)		
	Existence ou absence des intrants qui n'ont pas été utilisés				
Transfert de technologie	Le transfert de technologie de la part des experts JICA était-il effectif ?	<ul style="list-style-type: none"> Etat du transfert de technologie de la part des experts japonais aux homologues Degré de compréhension des homologues Points à améliorer 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Revue de documents ; questionnaires ; interview	
Efficience des coûts	Les expériences ou ressources du pays et de la région bénéficiaires ont-ils été mises en valeur ?	<ul style="list-style-type: none"> Exemples de mise en valeur des expériences ou ressources et leurs impacts 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Interview	

17

Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude
	Rubriques	Subdivisions			
Impact	Possibilité de réalisation du but global	Y a-t-il la possibilité d'une réalisation du but global au bout d'une période de 3 à 5 ans ?	<ul style="list-style-type: none"> Evolution des indicateurs du but global Facteurs externes qui ont eu impact sur les indicateurs 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	Revue de documents ; questionnaires ; interview
		Y a-t-il des facteurs entravant la réalisation du but global ?	<ul style="list-style-type: none"> Facteurs de contrainte et mesures d'atténuation 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	Revue de documents ; questionnaires ; interview
		Les homologues comprennent-ils le but global et les activités permettant sa réalisation ?	<ul style="list-style-type: none"> Activités nécessaires et environnement requis en faveur des homologues pour atteindre le but global 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	Questionnaires ; interview
	Effets de répercussion	Y a-t-il eu des effets imprévus positifs ou négatifs ?	<ul style="list-style-type: none"> Impacts imprévus pour la partie burkinabè Impacts positifs et négatifs imprévus sur les parties concernées du projet Impacts économiques sur les GGF / UGGF, populations riveraines des 4 FC (du point de vue de l'amélioration des revenus) Impacts négatifs sur l'environnement dans les zones cibles 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	Revue de documents ; questionnaires ; interview
	Relations réciproques entre le projet et le but global	N'y a-t-il pas un écart trop important entre l'objectif du projet (rectifié au PDM vers.3) et le but global ?	<ul style="list-style-type: none"> La réalisation de l'objectif du projet permettra-t-elle d'atteindre le but global ? Construction logique du projet Impacts des conditions extérieures 	Documents du projet ; experts JICA	Revue de documents ; interview
Les conditions extérieures sont-elles toujours valables aujourd'hui ? Pourront-elles être remplies ?		<ul style="list-style-type: none"> Etat actuel concernant : « La politique nationale en matière de la gestion durable et participative des forêts se poursuit » 	Documents du projet ; experts JICA ; homologues	Revue de documents ; questionnaires ; interview	

-72-

Titres	Questions à poser		Données requises (analyse des facteurs, si nécessaire)	Sources d'information	Méthodes d'étude
	Rubriques	Subdivisions			
Durabilité	Aspect politique et institutionnel	Le gouvernement burkinabè appuiera-t-il la mise en œuvre du projet, après la fin de la coopération japonaise ?	<ul style="list-style-type: none"> Orientations, plans/programmes, politiques (nouveaux) du gouvernement burkinabè en matière de la gestion forestière durable 	Experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires
	Aspect financier	Le budget pourra-t-il être obtenu de la part du gouvernement burkinabè pour la poursuite des activités du projet ?	<ul style="list-style-type: none"> Maintien des dispositions budgétaires ; mesures pour s'assurer du budget est suffisant ? Possibilité d'une augmentation future de l'attribution budgétaire par la mise en œuvre du projet 	Experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires
	Aspect organisationne	Le dispositif d'exécution du projet a-t-il la capacité organisationnelle de mettre en œuvre et de généraliser les activités après la fin du projet ?	<ul style="list-style-type: none"> Affectation du personnel pour la poursuite des activités du projet Capacité organisationnelle de l'agence d'exécution du projet 	Experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires
			<ul style="list-style-type: none"> Clarification des fonctions et rôles des différentes parties prenantes du projet Compréhension des rôles à jouer par toutes les parties prenantes du projet Existence ou absence des capacités d'exploitation et de gestion des homologues 	Experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	Interview ; questionnaires
	Aspect humain et technique	Les homologues sont-ils dotés d'une capacité pour exécuter efficacement les activités ? Sont-ils dotés de motivation suffisante ?	<ul style="list-style-type: none"> Appropriation, initiative des homologues Degré d'assimilation des techniques transférées à la partie burkinabè Conditions requises pour la poursuite des activités 	Experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	Interview ; questionnaires
		Les homologues (agents forestiers et autres) ayant reçu la formation vont-ils rester dans le projet ? Si ce n'est pas le cas, sont-ils capables de transmettre aux autres les expériences et techniques acquises ?	<ul style="list-style-type: none"> Existence ou absence d'un système de transmission des compétences lors de la mutation du personnel 	Experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires
		Les techniques sont-elles bien assimilées par les homologues et GGF/UGGF ? Y a-t-il un mécanisme de vulgarisation des activités du projet ?	<ul style="list-style-type: none"> Degré d'assimilation des techniques (aptitude à enseigner aux autres personnes, à effectuer indépendamment, etc.) Existence ou absence d'un mécanisme de vulgarisation des activités du projet Capacités des homologues et des GGF / UGGF formés dans le cadre du projet d'assurer à leur tour la formation sous leur initiative 	Experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	Interview ; questionnaires
	Aspect matériel	Les équipements acquis seront-ils correctement gérés et entretenus ?	<ul style="list-style-type: none"> Etat de gestion/maintenance, de réparation, d'utilisation des matériel et équipements Disposition budgétaire pour la gestion/maintenance des matériel et équipements 	Experts JICA ; homologues	Interview ; questionnaires
Aspect socioculturel	Les contributions aux femmes	<ul style="list-style-type: none"> Raisons d'une participation active des femmes Impacts produits par la participation active des femmes 	Experts JICA ; homologues ;	Interview ; questionnaires	

14

	Aspect environnement al	Les considérations sur l'environnement	<ul style="list-style-type: none"> • A considérer les impacts durables, l'utilisation des ressources naturelles est du volume adéquat • Impacts positifs ou négatifs générés par l'utilisation des ressources 	GGF / UGGF Experts JICA ; homologues ; GGF / UGGF	Interview ; questionnaires
--	-------------------------------	---	---	--	-------------------------------

Annexe-5 : Performance des intrants (partie burkinabè)

(1) Liste des homologues (au 31/12/2011)

	Nom et Prénoms	Grade et titre	Poste
Direction des Forêts			
1	DOULKOM Adama	Inspecteur et Ingénieur des Eaux et Forêts	Directeur des Forêts
2	COULIBALY Sia	Inspecteur et Ingénieur des Eaux et Forêts	Chef de Service de l'Aménagement des Forêts / Direction des Forêts
Direction Régionale des Cascades			
1	GUINKO Adama	Inspecteur	Directeur Régional des Cascades
2	OUEDRAOGO.K.Mahamadi	Contrôleur des Eaux et Forêts	Cumulativement / Chef SRPSE
3	BATIONO Barthélémy	TS Environnement	Chef / Service Régional de l'Amélioration du Cadre de Vie
4	OUATTARA Sériba	Assistant des Eaux et Forêts	Service Régional de l'Administration et des Finances
5	KY Prosper	Préposé des Eaux et Forêts	Service Régional de la Conservation de la Nature
Direction Provinciale			
1	BIKIENGA Salimata	Inspecteur	Directrice Provinciale de la Comoé
2	OUEDRAOGO Animata	Contrôleur des Eaux et Forêts	Régisseur de la Direction Provincial
3	TRAORE Hamadé	Contrôleur des Eaux et Forêts	Service Provincial de la Conservation de la Nature
4	BADO Jean Marc	Assistant des Eaux et Forêts	Chef de service provincial de la Planification
Services Départementaux concernés			
1	BATIONO Toussaint	Contrôleur des Eaux et Forêts	SDEDD / Sidéradougou
2	DABIRE Gnorna Julien	Contrôleur des Eaux et Forêts	Chef / SDEDD / Banfora
3	ZONGO Y. François	Assistant des Eaux et Forêts	SDEDD / Banfora
4	OUATTARA Alexis	Assistant des Eaux et Forêts	Chef / SDEDD / Soubakaniédougou
5	SAWADOGO Sékou	Assistant des Eaux et Forêts	Chef / SDEDD / Sidéradougou
6	NABI Michel	Préposé des Eaux et Forêts	SDEDD / Tièfora
7	OUEDRAOGO Grégoire	Préposé des Eaux et Forêts	SDEDD / Soubakaniédougou
8	ZOUNGRANA Mahamoudou	Préposé des Eaux et Forêts	SDEDD / Sidéradougou
9	NABI W. Adrien	Assistant des Eaux et Forêts	SDEDD / Banfora
10	BAZIE Pascal	Préposé des Eaux et Forêts	SDEDD / Banfora
11	BOUDO Salif	Préposé des Eaux et Forêts	SDEDD / Banfora
12	OUEDRAOGO Yassla	Préposé des Eaux et Forêts	SDEDD / Sidéradougou
13	SANGARE Belko	Auxiliaire des Eaux et Forêts	SDEDD / Banfora
14	NIKIEMA K. Vincent	Assistant des Eaux et Forêts	Chef / SDECV / Tièfora

(2) Coordonnateur National du projet (au 31/12/2011)

	Nom	Grade	Organisme	Période	Remarque
1	OUATTARA N'Grazié Thomas	Inspecteur des Eaux et Forêts	MEDD	Août 2007 à déc. 2008	Décédé en déc. 2008
2	KINI B. Nestor	Inspecteur des Eaux et Forêts	MEDD	Jan. 2009 jusqu'à présent	

(3) Personnel d'appui au projet (au 31/12/2011)

	Nom	Fonction	Organisme	Période	Remarque
1	KABORE Abdoul Wahab	Comptable	Projet	Depuis jan. 2009 jusqu'à présent	Contractuel par le budget de contrepartie
2	TRAORE Blaise	Chauffeur	Projet	Depuis jan. 2009 jusqu'à présent	Contractuel par le budget de contrepartie
3	SAWADOGO Yubert	Pépiniériste Agent de liaison	Projet	Depuis jan. 2009 jusqu'à présent	Contractuel par le budget de contrepartie
4	HEMA Midibahaye	Agent de liaison	Projet	De jan. à nov. 2009	Contractuel par le budget de contrepartie
5	LALOU Dauda	Gardien	Projet	Depuis jan. 2009 jusqu'à présent	Contractuel par le budget de contrepartie

Annexe-6 Performance des intrants (investissement en moyens humains)

(1) Envoi d'experts (au 31/12/2011)

	Fonction	Nom	Période d'envoi	HM	Résultats en charge
1	Conseiller technique principal / Gestion forestière	MIZUSHINA Shu	2007/7/1 ~ 11/29		1 à 5
			2008/2/5 ~ 3/5	6,07	
			2008/4/22 ~ 6/20	2,00	
			2009/1/19 ~ 3/26		
			2009/5/30 ~ 8/4	4,47	
			2009/1/5 ~ 2010/7/23	6,67	
			2010/9/30 ~ 11/8 2011/3/21 ~ 4/25 2011/11/23 ~ jusqu'à présent	2,53	
2	Adjoint au CTP / Amélioration du cadre de vie	TEJIMA Shigéharu	2007/11/7 ~ 12/21	1,50	1 à 5
			2008/5/14 ~ 8/1	2,67	
			2008/10/1 ~ 12/29		
			2009/3/22 ~ 6/9	5,67	
			2009/9/30 ~ 2010/1/27 2010/5/24 ~ 7/23	6,03	
3	Adjoint au CTP / Amélioration du cadre de vie	MIZUSHINA Shu	2010/7/24 ~ 8/6	0,47	
			2010/12/20 ~ 2011/2/3		
			2011/4/26 ~ 5/1	1,73	
4	Adjoint au CTP / Amélioration du cadre de vie	MASUI Hiroaki	2011/3/12 ~ 5/1	1,70	
			2011/10/1 ~ 12/15	2,23	
5	Développement participatif (1)	KADO Atsuyuki	2007/7/15 ~ 10/25	3,43	1, 2 et 5
			2008/4/23 ~ 7/11	2,67	
			2008/10/1 ~ 12/29	3,00	
6	Développement participatif (2)	MUTO Tamaki	2008/1/6 ~ 3/5	2,00	1, 2, 3 et 5
			2008/5/14 ~ 8/1	2,67	
			2009/1/19 ~ 5/18	4,00	
			2009/1/5 ~ 6/3	5,00	
			2010/10/26 ~ 11/29 2011/1/29 ~ 3/29	3,17	
7	Gestion administrative	KOBAYASHI Miwako	2007/7/1 ~ 8/29	2,00	1 et 5
			2007/4/22 ~ 6/5	1,50	
8	Gestion administrative	TEJIMA Shigéharu	2009/6/10 ~ 7/24	1,50	4 et 5
9	Gestion administrative / Supervision de la formation	SAKAI Fumiko	2009/9/30 ~ 11/28	2,00	1, 2, 3 et 5
			2010/6/8 ~ 8/6	2,00	
10	Supervision de la formation	SAKAI Fumiko	2010/10/26 ~ 12/24	2,00	1, 2, 3 et 5
			2011/7/20 ~ 8/3	0,50	
			2011/9/30 ~ 10/29	1,00	
11	Gestion administrative	KOBAYASHI Arito	2011/10/29 ~ 11/27	1,00	1, 2, 3 et 5

* Note : A cause de l'évacuation temporaire intervenue au cours de la 4^{ème} année, la substitution par le travail au Japon représentait 0,47 HM pour le CTP/gestion forestière et 0,5 HM pour la supervision de la formation.

(2) Personnel d'appui du projet (au 31/12/2011)

	Nom et prénom	Titre	Période d'engagement*
1	TRAORE Kasson	Facilitateur-assistant	Sept. 2007 à mars 2008 (1 ^{ère} année) Avril 2008 à juil. 2008 (2 ^e année ; 1 ^{ère} partie) Oct. 2008 à déc. 2008 (2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; avant) Janv. 2009 à juil. 2009 (2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; après) Oct. 2009 à juil. 2010 (3 ^e année) Oct. 2010 à juil. 2011 (4 ^e année) Oct. 2011 jusqu'à présent

2	SIRI Moussa	Facilitateur-assistant	Mai 2008 à juil. 2008 (2 ^e année ; 1 ^{ère} partie) Oct. 2008 à déc. 2008 (2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; avant) Janv. 2009 à juil. 2009 2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; après) Démission pour raison personnelle
3	COULIBALY Denise	Facilitateur-assistant	Oct. 2008 à déc. 2008 (2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; avant) Janv. 2009 à juil. 2009 2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; après) Oct. 2009 à juil. 2010 (3 ^e année) Oct. 2010 à juil. 2011 (4 ^e année) Oct. 2011 jusqu'à présent
4	TRAORE Mohamadou	Facilitateur-assistant	Oct. 2009 à juil. 2010 (3 ^e année) Oct. 2010 à juil. 2011 (4 ^e année) Oct. 2011 jusqu'à présent
5	TRAORE Marie	Secrétaire-comptable	Sept. 2007 à mars 2008 (1 ^{ère} année) Avril 2008 à juil. 2008 (2 ^e année ; 1 ^{ère} partie) Oct. 2008 à déc. 2008 (2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; avant) Janv. 2009 à juil. 2009 2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; après) Oct. 2009 à juil. 2010 (3 ^e année) Oct. 2010 à juil. 2011 (4 ^e année) Oct. 2011 jusqu'à présent
6	SAYOU Daouda	Chauffeur	Août 2007 à mars 2008 (1 ^{ère} année) Avril 2008 à juil. 2008 (2 ^e année ; 1 ^{ère} partie) Oct. 2008 à déc. 2008 (2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; avant) Janv. 2009 à juil. 2009 2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; après) Oct. 2009 à juil. 2010 (3 ^e année) Oct. 2010 à juil. 2011 (4 ^e année) Oct. 2011 jusqu'à présent
7	KONE Issouf	Chauffeur	Mai 2008 à juil. 2008 (2 ^e année ; 1 ^{ère} partie) Oct. 2008 à déc. 2008 (2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; avant) Janv. 2009 à juil. 2009 2 ^e année ; 2 ^{nde} partie ; après) Oct. 2009 à juil. 2010 (3 ^e année) Oct. 2010 à juil. 2011 (4 ^e année) Oct. 2011 jusqu'à présent

* Jusqu'à la première partie de la 2^{ème} année, c'est par le contrat avec l'agence d'intérim « ITEC Service » que le projet engageait son personnel. A partir de la seconde partie de la 2^{ème} année jusqu'à présent, le contrat de prestations avec l'agence résilié, le projet passer le contrat d'engagement directement avec son personnel.

Annexe-7 Performance des intrants (investissement en moyens humains)

Homologues envoyés au Japon pour le stage (au 31/12/2011)

	Nom	Organisme	Titre de stage	Période	Résultats en charge
1	OUATTARA N'Grazié Thomas	Ancien Coordonnateur National	Forest watershed environment/water & soil conservation	2008/8/24 à 9/13 (Retour anticipé en raison de la santé)	1 à 5
2	KINI B. Nestor	Coordonnateur National	Practical case studies on sustainable forest management	2009/8/19 à 11/8	1 à 5
3	OUEDRAOGO Mahamadi	Direction Régionale des Cascades, MEDD	Forest management through co-existence	2008/8/24 à 11/15	2, 4
4	TRAORE Hamadé	Direction Provinciale de la Comoé, MEDD	Practical case studies on sustainable forest management	2010/8/17 à 11/8	1 à 5

Annexe-8 Performance des intrants (investissement en moyens matériels)

Article	Fournisseur	Etat	Fréquence d'utilisation	Endroit	Numéro de série	Date d'arrivée	Prix (yen)	Prix (FCFA)	Catégorie de Budget	Nbr. introduit	Nbr. détruit	Nbr. actuel	Raison de destruction / remarques
Pickup TOYOTA	DIACFA	B	A	Bureau de projet	MROFR22G400518426	7/2007		25 000 000	Bureau JICA au BF	1	1	0	
Moto YAMAHA DT125	DIACFA	A A A	A A A	SDEDD (SB) Bureau de projet (CN) Bureau de projet (FA1)	DE02X-037090 DE02X-036686 DE02X-037061	7/2007		4 500 000	Bureau JICA au BF	3	3	0	
Ordinateur de bureau DX2200	Bessel Equipements SARL	A	A	Bureau de projet	CNT6470FL0	17/7/2007	202 204	675 000	JAFTA	1	1	0	
Photocopieuse Canon IR2016	Bessel Equipements SARL	A	A	Bureau de projet	KRB56070	17/7/2007	363 687	1 835 000	JAFTA	1	1	0	
Imprimante Laser HP1320	Bessel Equipements SARL	A	A	Bureau de projet	CNMKB0697	17/7/2007	65 646	190 000	JAFTA	1	1	0	
Projecteur Benq	Bessel Equipements SARL	A	B	Bureau de projet	PD42700270SU0	17/7/2007	278 874	800 000	JAFTA	1	1	0	
Ecran pour projecteur	Bessel Equipements SARL	B	B	Bureau de projet	-	17/7/2007	42 126	250 000	JAFTA	1	1	0	
Imprimante Laser HP P2015	Datasys	A	A	Bureau de projet	CNBW76L792	14/2/2008	65 646	235 000	JAFTA	1	1	0	
Pajero MITSUBISHI		B	A	Bureau de projet	LNV96W8J002066	5/2008		23 000 000	Bureau JICA au BF	1	1	0	
Moto YAMAHA YBR125		C A	C A	SDEDD (SI) Bureau de projet (AF2)	95670072862 095X70091527	6/2008		1 880 000	Bureau JICA au BF (940 000 x 2)	2	2	1	En sept. 2009, Casse suite à l'heur avec une voiture d'un diplomate nigérian. Procédure d'indemnisation en cours.
Ordinateur portable Toshiba SATELLITE L300	Sagaie Technologie	A A A	A A A	Bureau de projet	39028849Q Z8454689Q 39029449Q	10/6/2008	321 360	1 545 000	JAFTA (515 000 x 3)	3	3	0	
Refractomètres		A A A A	B B B B	Bureau de projet	A325879 A325819 A325849 A325909	26/9/2008	116 740	465 000	JAFTA (29 185 x 4)	4	4	0	
Module d'impression recto-verso pour photocopieuse Canon IR2016	Carman Infosys	A	A	Bureau de projet	-	4/7/2008	86 317	413 000	JAFTA	1	1	0	
Moto YAMAHA V80		A	A	Bureau de	4GC068618	8/2009	269 610	1 290 000	JAFTA	1	1	0	

Moto YAMAHA YBR125		A	A	projet (AF3) SDEDD (BA)	LBPKE12909003220 LBPKE129790026835	8/2009	392 920	1 880 000	JAFTA (940 000 x 2)	2	2	0	Unité = 940 000 F
Disque dure externe	Sagaie Technologie	A	A	SDEDD (TI) Bureau de projet		10/6/2008	29 120	140 000	JAFTA	1	1	0	
Imprimante multifonctionnelle HP Office jet Pro L7580	Sagaie Technologie	C	C	Bureau de projet	MY7CQ6401Q	10/6/2008	49 920	240 000	JAFTA	1	0 1	1	Pour L7580, la fuite d'encre a complètement détérioré l'ensemble de la carte. La réparation essayée en vain, une remplaçante achetée.
Imprimante multifonctionnelle HP Office jet J4580	Global Information & Services	A	B	Bureau de projet	CN9CQD10YS	21/7/2010		226 000	JAFTA	1	1	0	Vérifiée.
Ondulateur Mercury Classic800	Bessel Equipements SARL	C	C	Bureau de projet	Non marqué	17/7/2007	24 643	60 000	JAFTA	1	1	1	Irréparable suite à une panne (vérifié) ; au bureau.
Ondulateur Mercury Classic800	Sagaie Technologie	C	C	Bureau de projet	0711E800_00590	17/6/2009		55 000	JAFTA	1	1	0	Fonctionne, mais bruit anormal, démonté, irréparable (vérifié) ; au bureau
Téléphone/Fax CanonB820	Bessel Equipements SARL	C	C	Bureau de projet	NDL62992	17/7/2007	41 126	200 000	JAFTA	1	1	0	Vérifié dans l'armoire en bois au bureau.
Climatiseur LG	Bessel Equipements SARL	A	A	Bureau de projet	603HACQ01267	17/7/2007	70 210	250 000	JAFTA	1	1	0	Vérifié.
Stabilisateur Mercury AVR A1000	Bessel Equipements SARL	C	C	Bureau de projet		17/7/2007		30 000	JAFTA	1	1	0	En panne, vérifié
Stabilisateur Mercury AVR A1000	Bessel Equipements SARL	A	C	Chambre d'hôtel		17/7/2007		30 000		1	1		Vérifié
Stabilisateur EMKAY Gold SAR-1000VA	Bessel Equipements SARL	A	C	Chambre d'hôtel		11/11/2008		35 000	JAFTA	1	1	0	Vérifié
Stabilisateur AIRSTAR 2000	Kouanda Ousseni	A	A	Bureau de projet		10/10/2008		84 700	JAFTA	1	1	0	Vérifié
Stabilisateur SELFPROTECT 2000	Kouanda Ousseni	C	C	Bureau de projet		2/7/2009		52 500	JAFTA	1	1	0	En panne, vérifié
Stabilisateur TOPLINK 1500VA	Sagaie Technologie	A	A	Bureau de projet		10/11/2008		65 000	JAFTA	1	1	0	Vérifié
Stabilisateur à grande tension	Datasys	A	A	Bureau de projet (à	Non marqué	3/10/2008 (avance)		70 700	JAFTA	1	1	0	Vérifié

12

Moto YAMAHA YBR125	DIACFA	A	A	usage exclu. photocopieuse) SDEDD (SI)	9A0045164	26/12/2008 (définitif)		1 000 000	Bureau JICA au BF	1	1	0	Utilisation prévue pour formations en carbonisation, coupe ; stocké dans le magasin du projet
Tronçonneuses	Circuit Commercial Salam Soro	B	B	SDEDD (tous)	STIHL000011122 070 STIHL 6669996 STIHL 333 111 070 STIHL 081256668 STIHL 9663229	11/1/2010	568 931	2 847 500	JAFTA (569 500F x 5)	5	5	0	2 unités au SDEDD Sidéra, 1 à chacun des autres SDEDD, 5 au total

Montant total (a+b+c)	a+b+c	13 904 876	67 499 400
Equipements fournis achetés par le bureau JICA au BF (case a jaunes; à confirmer auprès du bureau) a		11 408 280	55 380 000
Equipements fournis achetés par JAFTA (cases lavande) b	b	2 313 689	11 231 500
Autres équipements achetés par JAFTA c	c	182 907	887 900
Montant inscrit comme équipements fournis a+b	a+b	13 721 969	66 611 500

Les lettres en rouge indiquent les consommables : le montant inférieur à 50 000 ou la durée de vie inférieure à un an.

Fréquence d'utilisation : A.. Fréquemment utilisé ; B.. De temps en temps utilisé ; C.. Non utilisé

Etat : A.. Bon ; B.. Passable ; C. Hors de service / rejeté

CN: Coordonnateur National ; FA: Facilitateur-Assistant ; SB :Soubakaniedougou ; SI :Sideradougou ; BA :Banfora ; TI :Tiefora

Annexe-9 Calendrier d'élaboration des PAG

* Suite à la révision du Code Forestier en date du 5 avril 2011, le PAG (Plan d'aménagement et de gestion) est devenu PAF (Plan d'aménagement forestier).

Année et période	Réalisations	(En date du 31/12/2011) Observations
2 ^e année ; 1 ^{ère} partie Mai à juillet 2008	Mise en œuvre de l'étude des ressources forestières et fauniques des 4 FC ciblées (une étude de base pour élaboration des PAG)	En régie par le projet
2 ^e me année ; 2 ^{nde} partie Déc. 2008 à mai 2009	Mise en œuvre de l'étude du potentiel des produits forestiers non ligneux des 4 FC ciblées (une étude de base pour élaboration des PAG)	Confiée à un bureau d'étude
3 ^e me année Mars à juillet 2010	Création du Comité d'élaboration des PAG Commencement d'élaboration des avant-projets des PAG Mise en place des limites des unités d'aménagement forestier (établissement des cartes du plan forestier)	
4 ^e me année Oct. 2010 à avril 2011	Elaboration de l'avant-projet vers.1 des PAG Elaboration de l'avant-projet vers.2 et vers.3 des PAG	Interrompue suite à l'évacuation temporaire des ressortissants japonais à partir d'avril 2011,
5 ^e me année Oct. à déc. 2011	En cours d'élaboration de l'avant-projet vers.4 des PAG	

Annexe-10 : Réalisation des activités

Items	Sources d'informations / méthodes	Résultat au 31/12/2011																	
1. Avancement des activités																			
(0) Activités préparatoires	Rapports du projet, Interviews	<p>Les activités préliminaires suivantes ont été exécutées comme préparatifs aux activités liées à chaque résultat attendu.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><i>A0.1. Faire la revue des études réalisées ainsi que les résultats des projets similaires</i></p> <p>« Indicateur »</p> <p>(1) Les documents et les rapports existants (copie et original) sont collectés et consultés.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) La collecte de documents / données requis et leur revue ont été faites</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><i>A0.2. Mettre en place le bureau du Projet au niveau local ainsi que les ressources humaines et matérielles nécessaires pour l'exécution des activités</i></p> <p>« Indicateurs »</p> <p>(1) Un bureau de projet est mis à la disposition du Projet.</p> <p>(2) Le personnel d'appui est recruté dans le cadre du Projet au nombre de 5.</p> <p>(3) Le Projet est doté de matériels roulants, des équipements informatiques et bureautiques nécessaires à la mise en œuvre des activités du Projet.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) Le bureau du projet a été installé en juillet 2007 dans l'enceinte de la DREDD à Bonfora</p> <p>(2) 5 personnes ont été embauchées pour les activités du projet et 7 personnes pour la consolidation des capacités d'organisation et d'exploitation des GGF et le suivi des activités</p> <p>(3) Les véhicules, les motos et le bureautique (ordinateurs et autres) ont été mis en place.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><i>A0.3. Mettre en place un mécanisme de coordination de la mise en œuvre du projet</i></p> <p>« Indicateurs »</p> <p>(1) Le Coordonnateur National est affecté au Projet par l'arrêté ministériel.</p> <p>(2) La session du comité de pilotage est tenue 2 fois par an.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) Le Coordinateur National a été nommé en juillet 2007. Suite à son décès en décembre 2008, le nouveau CN actuel a été nommé.</p> <p>(2) La mise en vigueur de l'arrêté instituant le Comité conjoint de coordination (comité de pilotage) a été retardée (février 2008)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1^{ère} année</td> <td style="width: 33%;">21 février 2008</td> <td style="width: 33%;">1^{er} Comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2^{ème} année</td> <td>20 février 2009</td> <td>2^{ème} Comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>17 juillet 2009</td> <td>3^{ème} Comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>3^{ème} année</td> <td>31 mars 2010</td> <td>4^{ème} Comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>4^{ème} année</td> <td>8 avril 2011</td> <td>5^{ème} Comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>5^{ème} année</td> <td>Mars 2012 (prévu)</td> <td>6^{ème} Comité de pilotage</td> </tr> </table> </div>	1 ^{ère} année	21 février 2008	1 ^{er} Comité de pilotage	2 ^{ème} année	20 février 2009	2 ^{ème} Comité de pilotage	17 juillet 2009	3 ^{ème} Comité de pilotage	3 ^{ème} année	31 mars 2010	4 ^{ème} Comité de pilotage	4 ^{ème} année	8 avril 2011	5 ^{ème} Comité de pilotage	5 ^{ème} année	Mars 2012 (prévu)	6 ^{ème} Comité de pilotage
1 ^{ère} année	21 février 2008	1 ^{er} Comité de pilotage																	
2 ^{ème} année	20 février 2009	2 ^{ème} Comité de pilotage																	
	17 juillet 2009	3 ^{ème} Comité de pilotage																	
3 ^{ème} année	31 mars 2010	4 ^{ème} Comité de pilotage																	
4 ^{ème} année	8 avril 2011	5 ^{ème} Comité de pilotage																	
5 ^{ème} année	Mars 2012 (prévu)	6 ^{ème} Comité de pilotage																	
(1) Activités du résultat 1	Rapports du projet, Interviews	<p>La plupart des formations destinées aux agents forestiers centraux et déconcentrés ont été exécutées comme programmées, permettant d'améliorer les capacités des agents y participant.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><i>A1.1. Evaluer les capacités techniques et organisationnelles actuelles des services forestiers au niveau central et déconcentré en vue de leur renforcement</i></p> <p>« Indicateurs »</p> <p>(1) Les sessions d'auto-évaluation sont tenues une fois au niveau central et une fois au niveau déconcentré.</p> <p>(2) Au moins 10 forestiers y participent au niveau central et au niveau déconcentré.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) Les sessions d'auto-évaluation ont été tenues comme suit :</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">Période</th> <th style="width: 33%;">Groupes cibles</th> <th style="width: 33%;">Contenu de formation</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> </div>	Période	Groupes cibles	Contenu de formation														
Période	Groupes cibles	Contenu de formation																	

Août à sept. 2007	Personnel des services forestiers au niveau central et déconcentré	Evaluation des capacités actuelles
Août 2007 (2 jours)	Agents forestiers au niveau central et déconcentré	Autodiagnostic des capacités et animation
Oct. 2007 (1 jour)	Agents forestiers au niveau central	Participation

(2) Au total 42 agents ont participé aux formations destinées aux agents forestiers du niveau central pendant 3 jours (en moyenne 14 agents par jour). Au total 27 du niveau déconcentré (en moyenne 9 par jour).

A1.2. Réaliser des formations et des ateliers en matière de mise en œuvre des plans d'aménagement et de gestion participative des forêts au profit des services forestiers

- « Indicateurs »
- (1) Les sessions de formation sont tenues 2 fois au niveau central et 2 fois au niveau déconcentré.
 - (2) La formation traite au moins 2 thèmes.
 - (3) Les forestiers y participent au nombre cumulatif de 20 (10 x 2) au niveau central et de 20 (10 x 2) au niveau déconcentré.

« Etat d'achèvement des indicateurs »

(1) à (2)

Les formations et ateliers en matière de l'élaboration et de la mise en œuvre du PAG participatif ont été organisés pour les services forestiers comme suit :

Période	Groupe cible et nombre de participants	Contenu de formation
1 ^{ère} année	Les formations destinées aux agents du niveau central et du déconcentré sont programmées	
Oct. 2008	6 pers. au niveau déconcentré	Formations sur le PAG et la participation
Nov. 2008	12 pers. au niveau central	Formations sur le PAG et la participation
Déc. 2008	3 pers. au niveau déconcentré (1 pers. par SDEDD/DPEDD)	Formation sur l'aménagement du bureau
24 à 25 xx 2010	22 pers., y compris staff du projet, personnel des services forestiers, agents forestiers de toute la province de la Comoé	(1) « Formation sur l'élaboration du PAG » (2) Formation pratique en zonage en parcelles
Avril 2011	44 pers., y compris staff du projet et personnel des services forestiers	Approche ADM (Analyse et développement des marchés)

A1.3. Réaliser des formations sur les techniques de gestion participative et durable des forêts au profit des agents forestiers

- « Indicateurs »
- (1) Les sessions de formation sont tenues 2 fois au niveau central et 2 fois au niveau déconcentré.
 - (2) Les forestiers y participent au nombre cumulatif d'au moins 20 (10 x 2).

« Etat d'achèvement des indicateurs »

(1) à (2)

Les formations en matière de techniques de gestion participative et durable des forêts destinées aux forestiers ont été organisées comme suit :

Période	Groupe cible et nombre de participants	Contenu de formation
Janv. 2008	Au niveau déconcentré, 10 participants par jour, au total 30 pers.	Formation liée aux techniques de gestion forestière (changement du rôle des agents forestiers avec la nouvelle politique de gestion participative ; apiculture moderne ; PFNL)
Oct. 2009 à déc. 2011	Destinée aux GGF	Formation sur les techniques de gestion forestière (forestiers)

(1) La situation actuelle des GGF existants (9 villages, 13 GGF), des villages sans GGF (15 villages, 15 GGF) et des UGGF (2 FC, 2 UGGF) a été étudiée et évaluée. 9 villages ont leur GGF et 15 sans GGF. Une enquête sommaire a été faite auprès des personnages clés villageois du Comité villageois de gestion des terroirs ou des responsables des CDV pour évaluation. La période de l'enquête coïncidant avec la saison de pluies, certaines difficultés pour cerner une partie de villages cibles.

A2.2. Renforcer les capacités organisationnelles des GGF et des UGGF existants dans les villages concernés par le Projet

« Indicateurs »

- (1) Les sessions de formation sont tenues 2 fois.
- (2) Les membres de bureau sont renouvelés dans 13 GGF existants.
- (3) La formation est effectuée avec les thèmes de « prise en note et gestion comptable » et « planification ».

« Etat d'achèvement des indicateurs »

(1) / (3)

Formation en prise de notes et comptabilité, destinée aux membres de l'exécutif

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Juin 2008	2 jours / GGF	10 GGF, dont 1 nouveau ; au total 30 pers.
Oct. 2008	2 jours / GGF	17 GGF, dont 13 nouveaux ; au total 69 pers.

Formation en prise de notes et comptabilité, destinée aux membres de GGF

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Mai 2009	2 jours / GGF	21 GGF ; au total 617 pers.
Fév. à mars 2010	2 jours / GGF	6 GGF restants ; recyclage pour 27 GGF ; au total 565 pers.

Formation en planification

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Mars à juin 2009	1 jour / GGF	21 GGF ; au total 319 pers.
Mars à avril 2010	1 jours / GGF	6 GGF restant ; au total 185 pers.

Formation en gestion des revenus

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Avril à mai 2009	Demi-journée / GGF	21 GGF ; au total 308 pers.
Févr. 2010	1 jour / GGF	6 GGF restant ; au total 285 pers.

Formation en suivi-évaluation

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Avril à juin 2010	1 jour / GGF	21 GGF ; au total 257 pers.
Fév. à mars 2011	1 jour / GGF	6 GGF restant ; au total 134 pers.

(2) Renouvellement de l'exécutif des 13 GGF

Au cours de la deuxième période de la 2^{ème} année, l'exécutif des 13 GGF a été renouvelé par élection directe.

A2.3. Promouvoir la création de nouveaux GGF et UGGF dans les villages riverains des 4 FC

« Indicateur »

- (1) 14 GGF et 2 UGGF respectivement pour la FC de Gouandougou et celle de Kongouko sont nouvellement créés.

« Etat d'achèvement des indicateurs »

- (1) Auprès des 14 villages n'ayant pas de GGF, 3 ateliers de sensibilisation ont été réalisés pour la création de GGF, permettant la création des GGF, l'élection de l'exécutif, l'appui aux élections générales. Ainsi 14 nouveaux GGF ont été approuvés avant le 31/01/2009. Au cours de la deuxième période de la 2^{ème} année, l'appui à l'ouverture du compte bancaire des nouveaux GGF. Il était prévu de créer 15 GGF dans 15 villages.

Auprès de l'un de ces villages (1 GGF), le problème de mise en culture à l'intérieur de la FC n'étant pas résolu, la création du GGF n'y est pas envisagée. Au cours de la 3^{ème} année, UGGF des FC Kongouko et Gouandougou ont été créés et enregistrés officiellement en 4^{ème} année.

A2.4. Réaliser des formations sur les techniques de gestion forestière (pépinière, plantation, gestion des feux, exploitation du bois de chauffe, bois d'œuvre, carbonisation, PFNL, etc.) au profit des GGF et des UGGF

« Indicateurs »

- (1) Les sessions de formation avec 8 thèmes différents sont tenues au moins 1 fois pour 1 GGF, soit au total 216 (8 x 27).
- (2) Au moins 10 membres de GGF y participent pour une session, soit au total 2 160 (10 x 216)

« Etat d'achèvement des indicateurs »

1. Apiculture moderne

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Jan. à févr. 2008	3 jours / GGF	5 GGF ; au total 140 pers.
Jan. à févr. 2009	3 jours / GGF	8 GGF ; au total 198 pers.
Mars 2010	1 jour / GGF	13 GGF ayant reçu la formation ; au total 107 pers. (recyclage)
Du 11 au 16 avril 2010	1 jour / GGF	3 GGF 40 pers., 6 agents ayant reçu la formation (tour de formation de Fandangourma)
Mars 2012 (prévision)	1 jour / GGF	13 GGF (recyclage)

2. Production des plants et techniques de reboisement

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Juillet 2008	2 jours / GGF	9 GGF existants ; au total 96 pers. (recyclage)
Fév. à juil. 2009	5 jours / GGF	8 GGF ; au total 235 pers. (plants)
	2 jours / GGF	8 GGF ; au total 140 pers. (reboisement)
Févr. 2010	5 jours / GGF	9 GGF ; au total 316 pers. (plants)
	2 jours / GGF	9 GGF ; au total 200 pers. (reboisement)
2010 à 2011	1 jour x 4 / GGF	27 GGF (exécution du recyclage d'un jour auprès de chaque GGF par formateur itinérant pour chaque thème, 4 fois par an)

3. Technique d'amélioration de la qualité du beurre de karité

Période	Contenu	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Oct. à nov. 2008	Techniques d'extraction	5 jours / GGF	6 GGF ; au total 1 239 pers.
Juin 2009	Récolte et conservation	3 jours / GGF	12 GGF ; au total 541 pers.
Oct. à nov. 2009	Techniques d'extraction	5 jours / GGF	6 GGF ; au total 1 042 pers.
Juin 2010	Récolte et conservation	2 jours / GGF	6 GGF ; au total 539 pers.
Nov. 2010	Techniques d'extraction	5 jours / GGF	6 GGF ; au total 1 309 pers.
Juin 2011	Récolte et conservation	2 jours / GGF	5 GGF ; au total 253 pers.
Nov. à déc. 2011	Technique d'extraction	4 jours / GGF	5 GGF ; au total 480 pers.

4. Technique de valorisation des plantes médicinales

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Nov. 2008	1 jour / GGF	8 GGF ; au total 44 pers.
Déc. 2009	1 jour / GGF	10 GGF ; au total 331 pers.
Févr. 2011	1 jour / GGF	9 GGF ; au total 218 pers.
Jan. à fév. 2012	1 jour / GGF	27 GGF (recyclage)

5. Techniques de carbonisation

LD

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Nov. à déc. 2008	6 jours / GGF	10 GGF ; au total 260 pers.
Févr. 2010	1 jour / GGF	10 GGF ; au total 76 pers.
Fév. 2011	1 jour / GGF	10 GGF ; au total 118 pers.
Fév. 2012	6 jours / GGF	2 GGF

6. Techniques d gestion de feux de brousse

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Nov. à déc. 2008	4 jours / GGF	4 GGF ; au total 386 pers.
Nov. à déc. 2008	4 jours / GGF	12 GGF ; au total 1 430 pers.
Nov. à déc. 2010	4 jours / GGF	11 GGF ; au total 638 pers.

7. Techniques de gestion de pâturage

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Mai 2009	2 jours / GGF	8 GGF FC Toumousséni ; au total 247 pers.
Juil. 2010	2 jours / GGF	7 GGF FC Bounouna et Gouandougou ; au total 130 pers.
Juin 2011	2 jours / GGF	9 GGF FC Kongouko ; reporté à cause de l'évacuation des experts japonais
Déc. 2011	2 jours / GGF	Exécution de la formation reportée

8. Techniques de la coupe

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Nov. à déc. 2009	4 jours / GGF	8 GGF ; au total 472 pers.
Janv. 2011	3 jours / GGF	GGF FC Gouandougou , 7GGF ; au total 962 pers.
Janv. 2012	3 jours / GGF	GGF FC Gouandougou

9. Amélioration de la qualité du soumbala

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Oct. à nov. 2009	7 jours / GGF	7 GGF

10. Valorisation des graines du Saba

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Juin 2010	1 jour / GGF	8 GGF ; au total 267 pers.
Juil. 2011	1 jour / GGF	8 GGF ; au total 152 pers. (recyclage)

Les séances de formation ont été réalisées en dehors des thèmes prévus. Après les formations, GGF poursuivent leurs activités de leur propre initiative, ce qui témoigne d'une amélioration des capacités de gestion forestière des GGF.

A2.5 Réaliser des formations sur les techniques de négociation et de vente des produits forestiers au profit des GGF et des UGGF

« Indicateurs »

- (1) Les sessions de formation sont tenues 1 fois par GGF, soit au total 27 fois.
- (2) Les membres de GGF y participent au nombre d'au moins 10 par GGF, soit au total 270 (10 x 27).

« Etat d'achèvement des indicateurs »

(1) à (2)

Les formations en matière de négociation et de techniques de vente des produits forestiers destinées aux GGF/UGGF ont été organisées comme suit :

Période	Durée	Groupes cibles, nombre de participants
Avr. à juin 2009	Demi-journée / GGF	21 GGF ; au total 308 pers.
Fév. 2011	Demi-journée / GGF	8 GGF ; au total 285 pers.

A2.6. Réaliser les formations sur le suivi-évaluation des activités des GGF et des UGGF

« Indicateurs »

- (1) Les sessions de formation sont tenues 1 fois par GGF, soit au total 27 fois.
- (2) Les membres de GGF y participent au nombre d'au moins 10 par GGF, soit au total 270 (10 x 27).

		<p>« Etat d'achèvement des indicateurs » (1) à (2) Au total 7 moniteurs ont été embauchés pour la consolidation des capacités d'organisation et d'exploitation des GGF, le suivi des activités et la communication avec le projet. L'embauche des moniteurs était prévue initialement pour une durée permettant de consolider les capacités aux membres de l'exécutif des GGF, mais ce qui a été rectifié comme jusqu'à la fin du projet.</p> <table border="1" data-bbox="451 360 1449 456"> <thead> <tr> <th>Période</th> <th>Groupes cibles, nombre de participants</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Avr. à juin 2010</td> <td>21 GGF</td> </tr> <tr> <td>Fév. à mars 2011</td> <td>6 GGF ; au total 391 pers. pour 2 séances</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 agents de suivi ont été embauchés pour consolider la capacité organisationnelle des GGF, assurer le suivi des activités et le liaison avec le projet. L'utilisation des agents du suivi était initialement prévue jusqu'à la consolidation de la capacité auprès des membres exécutifs des GGF, mais prolongée jusqu'à la fin du projet.</p>	Période	Groupes cibles, nombre de participants	Avr. à juin 2010	21 GGF	Fév. à mars 2011	6 GGF ; au total 391 pers. pour 2 séances
Période	Groupes cibles, nombre de participants							
Avr. à juin 2010	21 GGF							
Fév. à mars 2011	6 GGF ; au total 391 pers. pour 2 séances							
(3) Activités du résultat 3	Rapports du projet, Interviews	<p>Les activités ont été menées comme programmé dans PO, de manière à assister à l'apparition des GGF qui se chargent de la production et de la vente des produits forestiers ligneux, tels que charbon, ou de la production et de la vente des PFNL, tels que du miel, des produits des plantes médicinales, du beurre de karité, etc., aboutissant à la création des revenus.</p> <div data-bbox="451 797 1449 860" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><i>A3.1. Evaluer les besoins en infrastructures et équipements socio-économiques prioritaires de la population locale et analyser leur faisabilité</i></p> </div> <div data-bbox="451 860 1449 922" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>« Indicateur » (1) Une liste des besoins identifiés est établi avec la mention de faisabilité.</p> </div> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs » (1) Après avoir effectué une étude sommaire des besoins au cours de la 1^{ère} partie de la 2^{ème} année, on a reconnu l'importance primordiale des points d'eau aux différentes activités. Au cours de la 2^{ème} partie de la 2^{ème} année, une étude sur l'aménagement des points d'eau a été réalisée, pour soumettre à l'étude les possibilités de réalisation et l'ordre de priorité des villages susceptibles d'accueillir des installations. Au cours de la 3^{ème} année, Les forages ont été réalisés dans les villages de Djanga, de Wenga et de Tonga.</p> <div data-bbox="451 1171 1449 1234" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><i>A3.2. Planifier et réaliser des activités visant la valorisation des ressources ligneuses et non ligneuses par la population locale</i></p> </div> <div data-bbox="451 1234 1449 1328" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>« Indicateur » (1) Au moins 6 types d'activité 3 sont sélectionnées parmi celles énumérées par les membres de GGF et ces activités sont planifiées et mises en œuvre.</p> </div> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs » (1) Au cours de la 1^{ère} partie de la 2^{ème} année, une étude sommaire a été réalisée sur les activités d'amélioration des revenus de ménage souhaitées par 27 GGF, pour confirmer les besoins de chaque GGF. Les activités exécutées sont au nombre de sept (7), activités suivantes :</p> <p>Exploitation du bois de chauffe ; production de la charbon ; amélioration de la qualité du beurre de Karité ; valorisation des plantes médicinales, apiculture moderne ; amélioration de la qualité du soubala ; sirop du Saba ;</p> <div data-bbox="451 1637 1449 1700" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><i>A3.3. Planifier et réaliser des activités visant la satisfaction des besoins en infrastructures socio-économiques prioritaires retenus au profit de la population locale</i></p> </div> <div data-bbox="451 1700 1449 1794" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>« Indicateur » (1) Au moins 1 type d'infrastructures est sélectionné parmi ceux énumérés par les membres de GGF et l'aménagement de ce type d'infrastructure est planifié et réalisé.</p> </div> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs » (1) Sur la base des résultats de l'étude sur l'aménagement des points d'eau réalisée au cours de la 2^{ème} partie de la 2^{ème} année, sept (7) villages candidats ont été sélectionnés après l'examen de la mise en place de forages contribuant à la production des plants par GGF. Parmi ces sept villages, auprès des trois (3) villages prioritaires l'aménagement de points d'eau a été décidé. Au cours de la 2^{ème} partie de la 2^{ème} année, le château d'eau a été construit à titre d'expérimentation dans deux (2) villages (GGF e Noubaka, GGF de Dandougou). Au cours de la 3^{ème} année, les forages ont été réalisés dans trois (3) villages de Djanga, de Wenga et de Tonga. Au cours des 3^{ème}, 4^{ème} et 5^{ème} années, les</p>						

magasins ont été construits pour abriter des équipements investis au niveau des 27 GGF.

<p>(4) Activités du résultat 4</p>	<p>Rapports du projet, Interviews</p>	<p><i>A4.1. Elaborer le PAG de chaque FC</i></p> <p>« Indicateur »</p> <p>(1) Un PAG est élaboré pour chaque FC ciblée, soit au total quatre (4).</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) Une étude supplémentaire des ressources forestières et faunistiques (collecte d'informations sur les 4 FC, zones de production des produits forestiers, étude sur exploitants potentiels) a été réalisée au cours de la deuxième période de la 2^{ème} année, pour la collecte de données de base nécessaires à l'élaboration des PAG. Une étude sur les possibilités de mise en valeur des PFNL, ainsi qu'une étude sur le marché de bois à Banphora ont été conduites au cours de la 2^{ème} période de la 2^{ème} année. Il était prévu initialement que l'élaboration des PAG serait faite par l'organisme homologue et que la partie japonaise apporte un appui nécessaire pour le développement. Mais, tenant compte de la situation actuelle et des capacités de l'organisme homologue, pour ce qui concerne des PAG à élaborer pour 4 FC, on pouvait craindre que l'appui de la partie japonaise ne suffise pas à permettre l'élaboration des PAG. D'ailleurs, afin de faire refléter les concepts de la partie japonaise sur les PAG, on a décidé que l'élaboration des PAG serait faite conjointement par les experts japonais et homologues. L'élaboration des ébauches des PAG a été entamée à partir de la 3^{ème} année, les ébauches version 4 ont été achevées en décembre 2011.</p> <p><i>A4.2. Démarrer les activités de gestion forestière conformément aux prescriptions des PAG élaborés</i></p> <p>« Indicateur »</p> <p>(1) L'élaboration de PAG commence en octobre 2009 et les activités concrètes suivant le PAG sont démarrées en octobre 2010.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) Précédant l'élaboration officielle des PAG, les expérimentations ont été entamées au cours de la 2^{ème} période de la 2^{ème} année (production des plants ; techniques de reboisement ; gestion de feux de brousse ; techniques de gestion de pâturage ; techniques de carbonisation ; production du bois de chauffe ; amélioration de la qualité du beurre de karité ; amélioration de la qualité du soubala ; apiculture moderne ; valorisation des fruits du Saba). Les activités de gestion forestière, incluant les activités économiques, ont été partiellement entamées à partir d'octobre 2009, en précédant l'élaboration des PAG, pour être exécutées pleinement à partir d'octobre.</p> <p><i>A4.3. Elaborer un guide méthodologique d'aménagement des forêts dans la zone sud-soudanienne du pays</i></p> <p>« Indicateur »</p> <p>(1) Un guide méthodologique d'aménagement des forêts dans la zone sud-soudanienne est élaboré.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) Le projet du guide a été élaboré au cours de la 3^{ème} année (octobre 2009 à août 2010). Il était prévu de procéder à un brassage de ce projet avec la partie burkinabè, ce qui a été reporté à cause de l'évacuation temporaire des experts japonais. L'ébauche en japonais et en français a été achevée au cours de la 5^{ème} année..</p> <p><i>A4.4. Etablir des guides pratiques appropriés pour la population locale en matière de gestion forestière participative</i></p> <p>« Indicateur »</p> <p>(1) Les manuels pratiques pour 8 thèmes différents sont élaborés.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) Pour le manuel d'amélioration des capacités organisationnelle, le projet a été élaboré au cours de la 3^{ème} année (octobre 2009 à août 2010). Le contrôle du CN a été fait au cours de la 4^{ème} année (considéré comme version finale). On a décidé la préparation de 5 types de manuels pratiques de gestion participative et durable des forêts destinés aux populations locales. Parmi les thèmes prévus au début du projet, il existait déjà des manuels concernant la carbonisation et techniques de coupe, il a décidé de ne pas établir des manuels sur ces thèmes à travers discussions entre les deux parties..</p>
<p>(5) Activités du</p>	<p>Rapports</p>	<p>La plupart des activités ont été réalisées à peu près comme programmées par PO, et par la</p>

(17)

<p>résultat 5</p>	<p>du projet, Interviews</p>	<p>mise en œuvre des séminaires des acteurs locaux et des comités de pilotage, le projet a commencé à être mieux connu parmi les parties concernées locales.</p> <p><i>A5.1. Organiser des séminaires pour présenter le Projet aux autorités locales et aux services déconcentrés</i></p> <p>« Indicateurs »</p> <p>(1) Un séminaire des acteurs locaux est organisé par an, au total cinq (5) fois (2) Au moins 80 personnes participent aux séminaires des acteurs locaux</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) à (2)</p> <table border="1" data-bbox="453 432 1455 719"> <thead> <tr> <th>Année fiscale</th> <th>Date</th> <th>Nombre de participants</th> <th>Nom de séminaire</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2007</td> <td>2 août</td> <td></td> <td>Atelier de démarrage du projet</td> </tr> <tr> <td>2008</td> <td>28 mai</td> <td>91 pers.</td> <td>1^{er} séminaire des acteurs locaux</td> </tr> <tr> <td>2009</td> <td>19 juin</td> <td>123 pers.</td> <td>2^{ème} séminaire des acteurs locaux</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>28 mai</td> <td>148 pers.</td> <td>3^{ème} séminaire des acteurs locaux</td> </tr> <tr> <td>2011</td> <td>2^{ème} semaine de mai (suspendu)</td> <td></td> <td>4^{ème} séminaire des acteurs locaux</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>Avril (prévu)</td> <td></td> <td>Séminaire de synthèse</td> </tr> </tbody> </table> <p>Malgré la disparité quant à la période de la tenue, le séminaire des acteurs locaux est organisé une fois tous les ans, avec une participation de plus de 80 personnes. Cependant, le nombre de participants pour l'année 2007 n'est pas connu.</p> <p><i>A5.2. Réaliser des échanges et diffuser des informations sur le Projet à travers des rencontres techniques, des rapports d'activités et des différents canaux d'information</i></p> <p>« Indicateurs »</p> <p>(1) La session du comité de pilotage est tenue 2 fois par an, soit au total 10 fois durant le Projet. (2) Au moins 29 rapports d'activités de différents types sont préparés. (3) La lettre d'information du projet est publié 12 fois. (4) Le voyage d'étude est organisé trois (3) fois.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) Les Sessions du comité de pilotage ont été organisées comme suit :</p> <table border="1" data-bbox="453 1178 1455 1435"> <thead> <tr> <th>Année fiscale</th> <th>Date</th> <th>Nom de séminaire</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2007</td> <td>21 février</td> <td>1 session du comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>2008</td> <td>20 février</td> <td>2^{ème} session du comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>2009</td> <td>17 juillet</td> <td>3^o session du comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>31 mars</td> <td>4^o session du comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>2011</td> <td>8 avril</td> <td>5^o session du comité de pilotage</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) Tous les rapports ont été présentés à la Direction des Forêts (DiFor)</p> <table border="1" data-bbox="453 1496 1455 1816"> <thead> <tr> <th>Période</th> <th>Nom de rapport</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Mars 2008</td> <td>Document de démarrage</td> </tr> <tr> <td>Mars 2008</td> <td>Rapport de fin des opérations pour l'année 2007 (1^{ère} année)</td> </tr> <tr> <td>Août 2008</td> <td>Rapport de fin des opérations pour la 2^{ème} année 1</td> </tr> <tr> <td>Février 2009</td> <td>Rapport d'avancement des opérations pour la 2^{ème} année 2</td> </tr> <tr> <td>Août 2009</td> <td>Rapport de fin des opérations pour la 2^{ème} année 2</td> </tr> <tr> <td>Mars 2010</td> <td>Rapport d'avancement du projet pour la 3^{ème} année</td> </tr> <tr> <td>Août 2010</td> <td>Rapport de fin des opérations pour la 3^{ème} année</td> </tr> <tr> <td>Mars 2011</td> <td>Rapport d'avancement du projet pour la 4^{ème} année</td> </tr> <tr> <td>Août 2011</td> <td>Rapport de fin des opérations pour la 4^{ème} année</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) Pour ce qui concerne les lettres d'information, numéro 12 a été publié. On prévoit encore deux publications avant la fin du projet (4) Deux (2) voyages d'étude ont été réalisés : un à Fadangourou pour l'apiculture moderne, un autre au PAGREN pour amélioration de la capacité organisationnelle des UGGF. 3^{ème} voyage d'étude sera fait avant la fin du projet.</p> <p><i>A5.3. Appuyer le service forestier pour la supervision des activités forestières</i></p>	Année fiscale	Date	Nombre de participants	Nom de séminaire	2007	2 août		Atelier de démarrage du projet	2008	28 mai	91 pers.	1 ^{er} séminaire des acteurs locaux	2009	19 juin	123 pers.	2 ^{ème} séminaire des acteurs locaux	2010	28 mai	148 pers.	3 ^{ème} séminaire des acteurs locaux	2011	2 ^{ème} semaine de mai (suspendu)		4 ^{ème} séminaire des acteurs locaux	2012	Avril (prévu)		Séminaire de synthèse	Année fiscale	Date	Nom de séminaire	2007	21 février	1 session du comité de pilotage	2008	20 février	2 ^{ème} session du comité de pilotage	2009	17 juillet	3 ^o session du comité de pilotage	2010	31 mars	4 ^o session du comité de pilotage	2011	8 avril	5 ^o session du comité de pilotage	2012			Période	Nom de rapport	Mars 2008	Document de démarrage	Mars 2008	Rapport de fin des opérations pour l'année 2007 (1 ^{ère} année)	Août 2008	Rapport de fin des opérations pour la 2 ^{ème} année 1	Février 2009	Rapport d'avancement des opérations pour la 2 ^{ème} année 2	Août 2009	Rapport de fin des opérations pour la 2 ^{ème} année 2	Mars 2010	Rapport d'avancement du projet pour la 3 ^{ème} année	Août 2010	Rapport de fin des opérations pour la 3 ^{ème} année	Mars 2011	Rapport d'avancement du projet pour la 4 ^{ème} année	Août 2011	Rapport de fin des opérations pour la 4 ^{ème} année
Année fiscale	Date	Nombre de participants	Nom de séminaire																																																																				
2007	2 août		Atelier de démarrage du projet																																																																				
2008	28 mai	91 pers.	1 ^{er} séminaire des acteurs locaux																																																																				
2009	19 juin	123 pers.	2 ^{ème} séminaire des acteurs locaux																																																																				
2010	28 mai	148 pers.	3 ^{ème} séminaire des acteurs locaux																																																																				
2011	2 ^{ème} semaine de mai (suspendu)		4 ^{ème} séminaire des acteurs locaux																																																																				
2012	Avril (prévu)		Séminaire de synthèse																																																																				
Année fiscale	Date	Nom de séminaire																																																																					
2007	21 février	1 session du comité de pilotage																																																																					
2008	20 février	2 ^{ème} session du comité de pilotage																																																																					
2009	17 juillet	3 ^o session du comité de pilotage																																																																					
2010	31 mars	4 ^o session du comité de pilotage																																																																					
2011	8 avril	5 ^o session du comité de pilotage																																																																					
2012																																																																							
Période	Nom de rapport																																																																						
Mars 2008	Document de démarrage																																																																						
Mars 2008	Rapport de fin des opérations pour l'année 2007 (1 ^{ère} année)																																																																						
Août 2008	Rapport de fin des opérations pour la 2 ^{ème} année 1																																																																						
Février 2009	Rapport d'avancement des opérations pour la 2 ^{ème} année 2																																																																						
Août 2009	Rapport de fin des opérations pour la 2 ^{ème} année 2																																																																						
Mars 2010	Rapport d'avancement du projet pour la 3 ^{ème} année																																																																						
Août 2010	Rapport de fin des opérations pour la 3 ^{ème} année																																																																						
Mars 2011	Rapport d'avancement du projet pour la 4 ^{ème} année																																																																						
Août 2011	Rapport de fin des opérations pour la 4 ^{ème} année																																																																						

		<p><i>programmées dans les Plans de Développement (PCD) des communes concernées</i></p> <p>« Indicateur »</p> <p>(1) Les forestiers concernés effectuent au moins 1 fois par trimestre, soit 4 fois par an une supervision des activités du secteur forestier incluse dans le Plan de Développement Communal.</p> <p>« Etat d'achèvement des indicateurs »</p> <p>(1) L'activité a été réalisée au cours de la 3^{ème} année, mais interrompue pour la 4^{ème} année à cause de l'évacuation momentanée des experts japonais. L'activité sera de nouveau réalisée au cours de la 5^{ème} année.</p>
--	--	---

1-2

